京城日報

本紙定價 壹ヶ月七拾五錢 廣告料金 發行兼編輯人 奥田直之介 印刷人 小川三 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

九月三十日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇概して役者揃ひ耳
内閣の輕重は所信斷行如何に依る

政友會某顧問曰く原内閣は愈二十九日を以て親任式を擧行せり陸海軍外務を除き純政黨内閣を組織せるは吾人の主義に於て祝するに吝ならず床次氏の人物識量は既に定評あり而も内務行政の椅子なるに於て氏の得意知るべきのみ高橋男の藏相は兎角の評あるも勝田前藏相に比すれば確に一枚上の役者なり山本氏の農相は嘗て經驗せるところにて仲小路氏に優る數等なり中橋氏の文相は世間意こする者あるも不適任と言ふ可からず野田氏の遞相は蓋し面白き大臣振りを發揮すべし若し夫加藤海相の留任田中參謀次長の陸相に至つては共に新内閣の成功こいふべし内田子の外相は大に意外なりしも後藤外相に比し優る所多しされご外交調査會に於る苦境察するに難からず要するに原内閣の輕重は其所信斷行の如何に依る（東京特電）

◇オムスク藏相野望
オムスクにては首相ウオロゴドスキーの留守中藏相ミハイロフ政權を奪はんこ計畫しつゝあり（浦鹽電報）

◇新内閣の顔觸にて
支那政府最後の去就を決せん

國務院側の消息に據れば段内閣は日本の新内閣の顔觸れにより最後の去就を決す可く日本駐箚章公使に對し詳細報告方を電命せりと（北京特電）

◇支那與講和回答
駐支和蘭公使は二十六日支那政府に對し一週間前に交附せし墺太利の講和提議に對し速かに回答を望める旨交渉せしが支那政府は未だ閣議決定せずと回答せり無論支那は聯合國と同一態度を執る可し（北京特電）

◇在支露國人取締
支那政府は各省に宛て電報を發し支那國内の露國人旅行者に對し保護證を所持する者は從來の通り優待し保護證を所持せざる者は同國領事に引渡し又過激派は放逐せよとの命令を發せり（北京特電）

◇佛米軍地點占領
佛軍は一日平均四哩の進入を爲しセルヴオンハナヴアリンフアーム、ビユート、ヅ、メニル及びマンデマンハマニヂユを占領せり、尚米軍は一日平均八哩の進入をなしモンフオーコン、クーシーハナシチロア、セプトサルジユハベンタール、メランクール、セピーハヴアンクオアハモンブラン、ヴイユウの諸地點を占領せり（合同通信電報）

◇英軍敵戰線攻撃
英軍はセンシー南方の廣大なる敵戰線に對し攻撃を加へ（ヘーグ元帥は滿足なる進出を爲しつゝある旨報告せり（合同通信電報）

◇米佛軍目標奪取
米佛軍は目下スツピ及びミユーズ兩河間に於て四十哩の正面に對し攻撃を加へ總ての目標を奪取せり（合同通信電報）

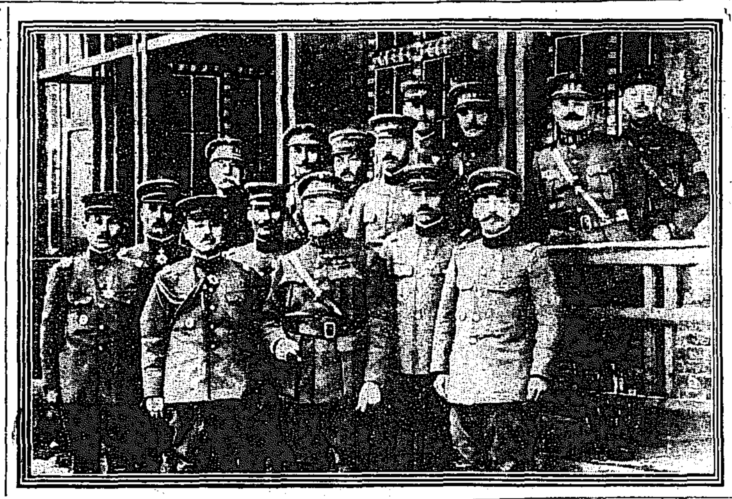
◇廣東内務部長
辭職雲南に向ふ

廣東軍政府内務部長は非常國會に反對の爲め辭職し雲南に向へり（香港電報）

◇リ公浦鹽滯在
某所着電＝前露國臨時政府首相たりしリヴオフ公は日米其他聯合國歴訪の途次浦鹽に來り目下同地滯在中なる駐日米國大使モーリス氏と會見せり尚オムスク政府はリヴオフ公に特命全權大使の權限を附與せりと（東京特電）

◎敵軍降伏遁走
十二師團の前進に伴ひ從來ヴラカチ方面に在りし敵は第十二師團の前進と後貝加爾及び黑龍方面よりする友軍の脅威に依りゼーヤ鑛山方向に退却せんとしたるもの、如くなるも我前進の迅速なりし爲め之を果し得ず殊にヴラゴエシチエンスク附近に在りし敵は水路ゼーヤ河上流地方に退却せんとするや到る處陸上の我部隊に阻止せられ一部は降伏し大部は暗夜に乘じて四散し所在の村落又は山に潛入して良民を裝ひ且つ共首領はヤクーツク方面に遁走を企てつゝあるもの、如し

◆西部戰線視察中の我陸軍特派員（數名の白耳義將校我一行中にあり）



◎總督視察
長谷川總督は三十日午前七時二十分南大門驛發列車にて大島副官神田秘書官藤波通譯官を從へ江原道成鏡南道地方視察の途に就きたるが同夜は釋安寺に一泊それより金剛山を探勝し長箭に出で興田漁場を視察し釋王寺は立寄り歸京すと

◎總督茶菓饗應
長谷川總督は三十日午後零時半京城ホテルに全道會計主任官同出席の爲滯京中の各道主任を招待茶菓の饗應を爲したるが總督府よりは荻田總務局長、郡山會計課長等列席せり

◎金融組合規程中改正發布
▲告示三件 十月一日總督府官報號外を以て左の告示三件發布即日施行さるべし

一、金融組合令第二條の規程に依る市街地指定
二、同令第九條に依る銀行指定
三、同令第三十一條に依る金融組合指定

▲業務監督規程 並に制令を以て金融組合令改正の件發布されたるが右に伴ふ地方金融組合業務監督規程中改正府令は十月一日總督府官報號外を以て發布即日施行さるべし

▲服務懲戒規程 地方金融組合服務及び懲戒規程中改正訓令及び地方金融組合理事任免保證金規程中改正訓令は何れも十月一日官報號外を以て發布さるべし

◎原内閣の政策は前内閣と大同小異か
＝前途の難關は講和問題＝某有力者談

寺内内閣の辭職は首相の病氣が理由こなつてゐる、新聞の攻撃なごは大分あつたが別に政友會こ衝突した組織の根本は前内閣こさしたる變りはない、乃で余は新内閣も大體に於て寺内閣こ相距る事遠からざるものこ思ふ、又帝國々是より觀れば元老に氣兼せず貴族院を多く眼中に置かず下院に多數を有するこ云ふ理由により原内閣の如きも自由に政治を運用して行けない事情にある、殊に新内閣は政友會の後援により立つてゐるはあつても目立つた政黨内閣の特色は發揮し得ないであらう、假へば外交方面は如何であるか當面の問題は西伯利の

▲出兵關係 にあるが帝國の西伯利策動を喜ばずこ稱せられた内田子が外相の椅子に就ても出兵論者の急先鋒たる田中陸相が控へてゐる以上又一旦刀は鞘を離れた以上今更撤兵なごこ云ふ事は出來るものであるまい、然らば政友會の一部に論者のある歐露出兵の如きは米國で西伯利鐵道を管理せんこし東清鐵道が未だ一會社の經營であるからには單に輸送上より見るも不可能である從つて現狀維持は止むを得まい然らば支那問題はごうかこ云ふに北方現政府の積極的援助南北の妥協更に南方政府の承認の如きはその何れも困難であるし列國この協調を要するもの多く先づ單獨で著しく變つた手のつけ樣はなからう唯

▲今回の外相は後藤男こ異なり純外交官出身の内田子である以上從來の如く西原氏を使つて

▲通貨を縮少 しーは物價の騰貴を幾分でも防止するの方策を執るには執らうそれを徹底的に行くか微温的に行くかは今後の施措に俟つ外はないけれご要するに新内閣が積極的財政策を把持して若し財界を益膨脹せしめて行き若し一朝何等かの變故に際會し大打撃を受くる事こもならばその反動は頗る猛烈に來はせぬかご之等の點に於て消極主義の山本氏も閣班にあり高橋男こ雖も樂天的放任主義の財政策を執り續ける事はなからうこ思ふ

▲物價の騰貴 が通貨の膨脹に常に正比例すとは今日に於て云へないかも知れぬ、然し乍ら小切手振出しの如きも通貨に基礎を置いてゐる以上流通證券の膨脹を或る程度まで騰貴させてゐるこ云ふ事は事實である、そこでこれを此儘放置して調節せず國民生活を益々不安ならしむるのは如何なものであるか、又貿易の如きも輸出超過や貿易外の受取が金の形で輸入されてゐるが米國に對して如何に金の輸出を禁じても米國が金の禁輸を實行せる以上吾國は日本の爲替銀行の資力では取らぬ正貨は依然米國に存置せねばならぬそれを無限に續くるこ云ふ事は日本の爲替相場に段々不利こなつて來る、乃で國庫の判氏及び輸出爲替の相場は段

[illegible]

△新内閣顔觸評
＝牧山代議士談＝

原内閣は二十九日午後二時親任式を行されたるが右に關し牧山代議士の新内閣觀に曰く、初めこは少々大臣の顔觸が變更された樣だが

▲純政友内閣 こ稱する事は疑はない併し大臣の割當には隨分苦心の跡が現はれてるやうだ今度の大臣中政友會の黨員に屬するものは何人も知つて

をした譯でもないのであるから今回原敬氏を首班こして成立せし新内閣は憲政の常道により多數黨なるが故に前内閣に更り政權に有りついたこは云へない、又關係の顔觸を見るに海相の留任を除き前内閣によく新内閣の成立を助けた田中義一中將の長閥を代表せりこせらるゝ外各大臣は政友會の首領並にその系統の人を以て充てられてはゐる、然し内相兼鐵道院總裁の床次氏は薩派出身の錚々たる人材で一面に於て同派の代表こも云ひ得るから結局

▲政友の勢力 が十薩こなり薩長の幾分を加味した内閣こ解して可なりである、而して内閣

▲講和問題 になるこ常に困難はごうも戰争には強いけれご政府は不人氣に墜ちる、日清日露戰役の結果に於て然りである、此の難關を原内閣が見事に切りぬけ民衆の輿望を荷つたら愈長壽を保つべしこ見てよい

▲少々苦しい 文部の椅子は希望すまい此處で中橋氏は適任だが遞信には持つて行けぬ大地翁を遞信に据た中橋氏を文部にましたものこ觀察される此の處

▲拓殖務大臣 こ云ふ格子にするこして元田氏は差當り沼氏の司法は適任だから司法の椅

▲幾多の經驗 を有して居るから色々こ云へば遞信大臣を希望されたに違ひない併し野田大地翁を文部に持つて來るここは如何しても變た野田翁も農商務か遞信ならば立派にやつて退ける手腕を持つて居るだらうが理屈はくまい無論不可こは云はないが大塊翁は田舍野人で學者肌の人でもかり並べられる大學總長や教授連を對手に文教を統るここは一寸向

◎歐洲戰亂の
大局面に反して露西亞を其の滅亡から救濟するこ言ふ樣な意味の範圍に於て我が政友會の意見こ略合致してゐる即ち今同田子が外務の椅子を占めらる、事こ成つたこ云ふ事に就いては當然政友會に入黨さる、事だらうこ信ぜらる從つて從來の方針は全然一變されるかも知れない、床次氏の内務は其の部内の受けも極めて圓滑に行くだらうし内田子の外務は勿論大藏山本氏の農商務も先づ無難こ言ふよりも寧ろ適任こ言つてよい中橋氏の文部は世間或は兎角の評を見るかも知れぬ又本人自身も海運通信の方面に

◎叙勳
中央試驗所技師中川虎太郎氏以下一名勳五等に郡守米内金策氏外五名勳六等に何れも二十六日附を以て定期叙勳ありたり

◎全道宅地面積
土地調査局調査の結果によれば朝鮮に於ける宅地の確定面積は十二

◎鮮銀兩地引揚
馬山と新義州殖銀に引繼

鮮銀行の新義州馬山兩出張所は全く地方的の支店こ稱し得べく兩地共に朝鮮銀行の土地に於て中央銀行の存置を必要こせざるに付朝鮮殖産銀行の全部をるからで引繼ぎ引揚ぐるに至るべく總督府當局並に兩行間の諒解ありこの説有力方面に傳へらる

▲京畿一五、四四五町▲忠北六、〇〇九▲忠南一〇、三四四▲全北九一二▲全南一五、八二二▲慶北一四、〇八一▲慶南一一、六七七▲平南八、五二五▲平北七、八九六▲江原八、三三六▲咸南七、四二三▲咸北三、三六六▲合計一二九、六六四

道別は左の如し 萬九千六百六十四町歩にしてその

◎農銀行務引繼
湖南安全州光州慶尚成鏡六農工銀行本支店は三十日午後四時の締切を以て行務の全部を擧げ一切現在の儘成立すべき朝鮮殖産銀行に引繼ぐ事こなれるが漢湖農銀は十月一日よりて現存中より殖銀頭取に又地方支店は各支配人より殖銀新支店長に引繼ぐべしこ

□新内閣各相の住所
新内閣各大臣の宿所左の如し

首相	東京芝區芝公園七號ノ四
内相	同麻布區三河臺町十四
陸相	同府下豐多摩郡大久保西大久保三五〇
藏相	同豐多摩郡大久保字西大久保四四一
文相	東京赤坂區表町二丁目
遞相	麴町區中六番町三九
農相	同麻布區材木町三八
海相	麴町區上二番町三八
	麴町區霞關二ノ一

◎漢銀東京支店設置
漢城銀行東京支店設置の件は豫て總督に申請中の處三十日認可せられたるを以て直ちに開業準備に着手したるが開業は多分十二月早々なるべしと

◎鑛業登錄（自九月二十四日至同廿三日）
▲鑛業權設定
鐵 慶尚北道奉化郡春陽面 九十萬坪 中野誠太
同 十六萬坪 同
▲鑛業權移轉
金銀 忠清北道永同郡永同面 長澤... 黃海道信川郡弓興面 藤田 ... 慶尚北道義城郡春山面 李 ... 江原道淮陽郡上東面 ... 金 裕
▲共同鑛業權者
平安南道大同郡柴足面 洪昌海 退脱シ

◎鮮銀總裁歸期
東上中の美濃部鮮銀總裁は十月一日午前九時二十五分南大門驛着列車にて秘書役帶同歸任す

◎嘉納副總裁歸
京城銀行副總裁嘉納德三郎氏は三十日午後九時十分南大門驛着列車にて歸京すべし

◎日下氏入京
第一銀行取締役日下義雄氏は卅日朝入京朝鮮ホテルに投宿數日滯在の豫定也

◎和歌山縣視察團
和歌山縣視察團一行十名は廿九日夜來安元寶館に一泊し三十日午前六時十五分の急行にて北行せり（安東特電）

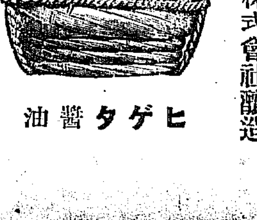
茶前酒後
◆吾人は昨日の紙上、中歐同盟の危機を言へり。而して今日勃國の休戰申入れを聞く、勃國の現狀にして聯合國に對し休戰を提議せりこの報に接す。之れ當然到來すべき勃國の現狀にして、國民の不平こ疲勞こ、困憊こ、野心こ相依て、漸次今日の形勢を現出せる勃國が、若し飽迄も戰はんこ欲せば、滅亡か、革命か、降伏か、自滅か、其の何れかの危險は、將に到出せんこするの現況にあり。如何にしても大打撃たるは勿論也。況んや英軍は既に勝に乘じて勃國内に侵入し、塞軍も亦勢を得て、ラダアイツアに迫れるの今日に於てをや。◆勃國の休戰提議が、聯合軍に認容せらる、や、否は未だ疑問たらざるを得ざる也。然れども勃國の挫折は、中歐同盟の破綻を來すべき基にして、土耳古は之が爲に、益孤立の位置に陷り、進退谷まるの秋に邂逅せん、此の時にあたり必ずや一こ處りもあらざるらば、必ずや聯合軍に脅かさるるの曉に至らんこす。◆墺國の提議せし講和が、或は露國化し的政略なりこするも、事こなれども、墺國は既に伊太利方面の防禦を以て漸く敵の侵入を防ぎ、國内の非戰論を壓迫しつゝある。聯合軍若し勃牙利を占領し、塞軍を合せて南方より墺國に突入せば、墺國豈に之に當るの勇ありや、否、西部戰線に於ける獨軍、今日の形勢にあるが故に、恐らく援軍を送るべきの餘裕あらざるべく。伊斯坦堡の兵力、亦分割する能はざるが故に、墺國は此處に到つて、白旗を揭ぐるの止むを得ざるに至るべし。◆吾人は斯くして、巴爾幹の形勢が、歐洲大戰の終局を誘ふべき一大問題たるべきを疑ふこ共に、勃牙利の休戰提議に對し、果して聯合軍は如何の方策を採らんこするか、感興こ共に、刮目して之に對せざるを得ず。

人事消息
▲新任竹村第一銀行京城支店長 三十日朝釜山上陸午前十時三十分發列車にて北行（釜山特電）
▲瀨越太郎氏（總督府專賣課間島出張所長）二十八日附三十七日間の豫定にて慶北管内へ出張を命ぜらる
▲常月潮三氏（同課技手）二十八日附十八日間の豫定にて東京島取島根の一府二縣へ出張を命ぜらる
▲池田泰次郎氏（同土木局技師）二十六日附三日間の豫定にて清州へ出張を命ぜらる
▲綾川要氏（同農務課技師）二十七日附八日間の豫定にて京畿道忠清北道管内へ出張を命ぜらる
▲三井榮長氏（同上）二十八日附三日間の豫定にて全北全州へ出張を命ぜらる
▲大塚昂元氏（總督府囑託）廿八日附往復十四日間の豫定にて釜山防波堤位置及仁川港埠頭視察の爲出張を命ぜらる
▲長野辰二郎氏（三井物産社員）三十日入京大眞樓へ
▲外山石英氏（平壤東亞煙草販賣主任）三十日入京山本へ
▲田村秀賀氏（三菱上海支店長）二十九日入京各方面視察の後十月一日歸任の途に就くべし

謹告
十月一日は始政記念日に付臨時休業仕候
仁川米豆取引所

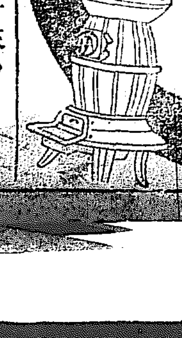
謹告
十月一日は始政記念日に付臨時休業仕候
三井物産株式會社仁川出張所

謹告
十月一日は始政記念日に付臨時休業仕候
株式會社朝鮮銀行仁川支店
株式會社朝鮮商業銀行仁川支店
株式會社百三十銀行仁川支店
株式會社十八銀行仁川支店
（順不同）

宮内省御用達

ヒゲタ醤油
千葉縣銚子港 銚子醤油株式會社釀造
代理店 京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五番

紳士淑女方の御召物に本場大島紬益々流行 鹿兒島市下荒田三九三 青柳商店第一部

昨夜出火の際は早速御馳附被下御厚意奉謝候一々拜趨御禮申述べき筈の處混雜中貴名伺洩れ有之哉も難計乍略儀以紙上御禮申上候
仁川萬石町 朝鮮物産株式會社

H.H

此商標を附しあるは責任ある證なり
大阪 ヒンヒラ商會
各地金物店に販賣せり

釀造用諸材料騰貴に付來る十月一日卸發賣より
清酒大樽壹樽に付金二圓
右値上仕候也
仁川酒造組合

大正七年七月一日改正現行

○親任式當日の原新首相邸

―晴々しい氣分漲る裡を慌だしい人の出入り―

『お目出度う』『お目出度う』

白頭翁は燕尾服姿で大滿悅

親任式當日の芝山内の原敬氏邸は曇り空の中にも晴々しき氣分漲り書生女中などのうち、かな話聲が漏れて聞ゆる午前八時三十分と云ふに新文相中橋德五郎氏は早くも自動車を驅つて入り來たり奥の總裁の居間にて約三十分許り對坐して會談する、其處へ新書記官長たる高橋光威氏が腕車にて飛ばし來り何事か打合せをする隙で四百十二號の自動車が

◈狹い玄關に横はると問題の原氏

はシルクハットにフロックコート

勳一等の畧章と云ふ扮裝で玄關扉の側に立つ『さあ御記念の爲めに』と寫眞班の一齊射擊に

總裁の包み兼ねたる喜悅を面につゝ現はす所をレンズに收められる、澁谷執事が『お早やくお召しを……』この聲に促に自動車の人となり永田町の首相官邸に寺內伯を訪ひ九時三十分參內

◈閣員名簿を捧呈して歸邸すると

邸內では『お目出度う〳〵』の聲が溢れて居た總裁の歸邸と共に古河男横田幹事長等が前後して來り續いて山本悌二郎、工藤、武藤等の各代議士も來る十一時五十分に

和服姿の元田肇氏が腕車を飛ばして來り約十五分間會談の後玄關に出たので『御入閣ですか』と云へば『イヤ我輩は留守居だよ』と手を横に振る正午となるや横田幹事長が

◈是で一段落を告げた

ア、疲れたと云ひながら自動車で去る斯て零時三十五分下條書記官が大きな鞄を抱へて自動車で參邸すると同四十分再び第四百十二號の自動車は玄關に横付けされる、入違ひに下條書記官が辭去すると暫く玄關の周圍が靜寂が續く午後一時原總裁はシルクハットに**燕尾服**勳一等の大綬章を佩びて玄關を出て來た

◈再び寫眞班に包圍せられると

『さあ撮り給へ』と然も心地よげにレンズの人となつて自動車に乘込む樂て**床次夫人が菓子折**を持つてお祝ひに來た兎角する間に雨は晴れ門前には大國旗が交叉せられて盛大なる

▽歷代首相の年齡

伊藤公は四十五で山縣公は五十二で黑田伯は四十九で

▽……原氏は六十三歲の老齡

原敬氏が內閣を組織する事が何となく生々しい若僧がお茶屋へ上がつて大盡風でも吹かすかのやうに一般に思ひなされて居り又一部の政客軍閥官僚の間にも『原に內閣を組織させるのは未早い』などの

◈陰口を聞く者がある が我國に於る歷代總理大臣の年齡を調べて見ると原敬氏の六十三歲は決して早いどころの沙汰でなく寧ろ聊か老い込んで居はせぬかと心配される位である、即ち第一次伊藤內閣にあつては博文公四十五歲にして內閣の首班に立つたのである、四十五歲と云へば東京で見ると横山勝太郎氏位の年齡で總理大臣としては頗る若い組である、次に第二次の內閣では

◈黑田淸隆 伯の首相で四十九歲、第三次が山縣首相の五十二歲、第四次が松方侯の五十七歲、第五次が伊藤公の五十二歲、第六次が松方侯の六十二歲、第七次が伊藤公の五十八歲、第八次が大隈侯の六十一歲、第九次が山縣公の六十一歲、第十次が伊藤公の六十歲、第十一次が桂公の五十五歲、第十二次が西園寺侯の五十八歲、第十三次が桂公の六十二歲、第十四次が西園寺侯の六十三歲、第十五次が桂公の六十六歲、第十六次が山本

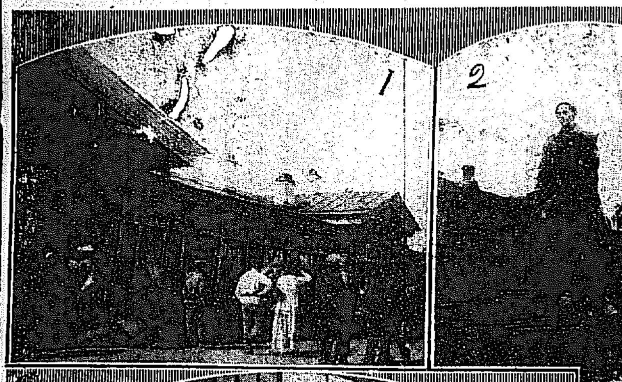
◆權兵衛伯 の六十二歲、第十七次が大隈侯の七十七歲、第十八次が寺內元帥の六十五歲、以上の如く原氏は尠くとも伊藤公、黑田伯、山縣公、松方侯、桂公、西園寺侯、山本伯が初めて內閣を組織した當時の年齡に比して遙に上位にあるのである、殊に伊藤公の如きは其內閣組織の第四回目にあつてさへ猶ほ六十歲であつたではないか、誰か原氏を以て若僧といふか、誰か新宰相を以て未だ早しと爲すか

祝宴を張る準備が始まつた（東京特電）

□大宮人の見た新宰相

△二十七日の宮內省　△七年來の參內振り

原敬氏の大命拜受は無爵である事と、初めての東北出身の首相であると云ふので廿七日の宮內省內は『原さん』の話で持切りであつた▲先づ坂下門に、その參內ぶりを見んと宮內省各部局の連中が詰めかけて居る門衛の警手が恭しく左右兩側に一人づつ立て擧手の禮をしてゐるその中を輕く右手で絹帽をさゝへて重々しく會釋して參入した總理▲東車寄せから玉階をよぢて宮城へ上り仕人や舍人に迎へられて大奧へ參進の態度等非常の上出來流石は爵は無くても『原さん』……と頗る好評



（一）我軍の占領せしハバロフスク停車場（二）我軍の案內役を爲したる勇敢なる哥薩克兵（三）ハバロフスク停車場守備の日本兵（從軍記者金谷氏撮影）

▽新閣員年齡

▼平均五十八歲

最年長者 野田遞相　最年少者 床次內相

親任式を擧行されたるが今閣員の年齡を調査し見るに最年長者野田遞相最年少者は床次內相にして其年齡合計五百二十六歲四ヶ月にして平均年齡は五十八歲六ヶ月に相當し居れり因に衆議院議員の年齡五十三歲（九月現在）なるに比較すれば新閣員の年齡は恰も六年六ヶ月の年長に當り居れり

▽年齡順　左の如し

		歲、月
（遞相）	野田卯太郎	六四、一一
（藏相）	高橋　是淸	六四、三
（首相兼法相）	原　敬	六二、八
（農相）	山本　達雄	六二、八
（海相）	加藤友三郎	五七、四
（陸相）	田中　義一	五五、八
（文相）	中橋德五郎	五四、一
（外相）	內田　康哉	五三、〇
（內相）	床次竹二郎	五一、二
計		五二六、四
平均年齡		五八、六

○山公病む

日夜の心勞の爲か

山縣老公は政界の變局に際して去る十七日小田原の古稀庵より麴町五番町の新椿山莊に入りて以來日夜の心勞と昨今の天候不良の爲め健康勝れず廿七日には平井赤十字病院長の診察を受けたりと尙ほ小田原古稀庵に行く日はまだ決定せざるも政局の決定次第來月上旬退京す可しと

○明治神宮の懸賞圖案當選者

明治神宮彰德記念館葬場殿建造物設計圖案懸賞募集は本日詮衡を終り當選を發表せり（東京）

▲一等（五千圓）東京府下豐多摩郡千駄ヶ谷村字原宿　小林正紹

▲二等（三千圓）三名▲三等（二千圓）三名▲四等（一千圓）四名

○暴騰した役者稅

筆頭は雁次郎　一萬圓の決定

◆芝居國の昔よりの秘密、役者の給金は一切洩さぬが何しろ近年の役者の生活は贅澤なもの

◆それで稅金が安過ぎるといふ譯かツイ此程稅務署より夫々へ通知に及んだ一箇年の所得稅決定書によると昨年に比して少きは二倍多きは八九倍のもある

◆先づ筆頭の鴈治郎は昨年の六千圓に對し本年は一萬千六百七十圓、福助は昨年が二千圓で、本年が六千五百圓、延若は昨年が二千五百圓で本年が八千圓

◆我童は昨年が千圓で本年が九千圓大阪で唯一人の納稅少年俳優の扇雀は昨年が四百圓で本年が八百圓大阪役者中の金持たる梅玉は俳優の籍が演詩にあつて昨年とは千圓ほどしか違はず本年は九千圓とやら

◆役者の附添人では延若の番頭馬淵一人、これは昨年の二百圓に對し本年は千二百圓それは少し辛うおますとあつて審査請求中とのこと（大阪）

○戰死と決つた厚東少尉

あはれ青年士官最後まで猛戰

八月廿三日の第一戰ドゥホフスコエ附近の戰鬪に於て將校斥候の命を受け行方不明となりたる出征福岡廿四聯隊第九中隊少尉厚東四郎次氏外兵士四名の屍體は遂に第九中隊一等卒椰村文內氏のみ發見されたれ行方不明の儘となり居たるが同月二十六日に至り何れも發見されて二十三日の戰鬪にて戰死せるものと確定されたり

❖厚東少尉 は本年二十四歲大正元年十二月士官候補生として二十四聯隊に入隊し同三年十二月士官學校に入り四年五月退學十二月二十五日少尉に任官されたるが性至つて沈著學科共に優秀にして將來ある青年士官として囑目さるゝ處あり常に快活にして友誼敦く唯娛樂としては

❖尺八を良くし 女人の域にまで進み居たりと郷里には實母の外家兄太郎氏あり村內屈指の資產家なりと當厚東少尉の平生に就て福岡留守聯隊副官行德中尉は曰く『公報に依ると厚東少尉は八月二十三日の第一戰に於て戰死を遂げたのであるから我が出征軍中劈頭の戰死者である然も部下十數名を率ゐ

❖最後まで 猛戰したことは十數名の部下中生還した兵士は何れも重傷を負ひ其他は少尉と共に戰死を遂げて居るのを以ても知るべきである福岡聯隊から劈頭の戰死者を出したことは名譽の次第である少尉は頭腦明晰、體力强健擊劍、馬術其他の實科に於て一流の腕前を有し篤實にして友誼に厚く將來有望の青年將校として何人も期待して居た次第である』

○實彈を發射し陣地を爆發す

☆歐洲戰を小さくした高師ヶ原の攻防演習☆

全國師團長の觀戰

陸軍の攻防演習は愈十月一日から一週間に亙つて豐橋の東南方高師ヶ原と天伯原附近に行はれる同演習は例年春秋二期に行はれたるものであるが今年は特に

▲規模を大にし 各種の新研究もあるところから全國各師團長、步砲各旅團長、同聯隊大隊長等をも召集して觀戰せしめる筈である

これが統監は一戶教育總監、審判長は大庭大將、審判官長は木下中將、工兵審判官長近野中將、航空隊高級審判官長山梨中將、步兵審判官長川村中將、中村中佐等で、參加部隊は近衞、第十五兩師團の一部及び全國各學校より拔せるものをもつて編成し步兵約六個聯隊砲兵約二個聯隊工兵約三大隊にしてこれに航空隊の一部と電信隊とが加はる演習の模樣はまづ防禦軍は現在

▲西歐戰 に於て行はれてゐるやうに數線に亙つて縱橫に塹壕を掘り

▲塲で行 り鐵條網を網の如く繞らし淺い洞窟掩蔽部を設けるなど能ふ限り堅固な陣地を構へるので、その爲めには莫大な費用を投じ到底平素の演習などでは見ることが出來ないものである、これに對して攻擊軍また敵の陣地間近く所謂攻擊陣地を作り猛烈なる威力をこれに浴びせるので

▲連日實彈發射 するやら鐵條網爆破を行ふやらするが最後に到つてその陣地の爭奪戰を行ひ殆んど實戰と同じき血湧き肉躍るの壯絕さを極める、一方航空隊は砲兵と聯合して距離を觀測し或は單獨に偵察に從事するなど大に活動するが、尙空中寫眞に就いて各種の試驗を行ふ現に歐洲では飛行機が敵地の撮影を終つて著陸するや

▲現像用自動車 がこれを受け取つて軍司令部へと疾驅しながら迅速に現像しさらにこれを定尺に合せて擴大、印刷した上司令部より各部隊に配布するので、しかもこれだけの仕事を六時間以內に行ふと云ふ、今回の試驗も殆どこれと同樣であるが、その成績は未だ解らない、その他塹壕內における死傷者の收容には從來の擔架が使用されぬため新に網狀擔架を使用

□哈府雜記帳

金谷從軍記者

◇ハバロフスクは官吏と軍人ばかりの落附いた街市街は三つの丘が並んで一番南側のが黑龍江と烏蘇里河の出口に突き出てゐるその突角はハバロフスク公園、ムラビョーフ、アムールスキーの銅像が遙かに南の方を睨んである

◇ハバロフスクに著いた日は嘘かと思ふ秋晴の好天氣であつたが翌日は俄に暴風雨となつた、往來を步けば風に吹き飛ばされさうな大風である、冬は這麼風が度々吹くといふことであつた

◇ハバロフスクには頃日過激派の發行した新紙幣が通用してゐる聽ては反古同樣になるものなから

らチェック軍はスタンプを捺して良貨と引換を保證してゐる、しかし露西亞の紙幣全體が變なものだから似たり寄つたりのもの過激派はハバロフスクを退去前めちやくちやに紙幣を發行して舊ケレンスキー時代の紙幣と引換へて行つたそれにチョーリン邊では日本銀行や朝鮮銀行の紙幣並に郵票をも受取り始めた

◇街にはモウ毛皮の襟巻をつけた婦人が澤山通る黑龍江の河風はモウ內地の晚秋の冷たさで公園の茶店も戶を閉めてゐる時々街ではサンタクロースのやうなおやぢを見る、それが大きな黑龍江の鮭をさげて通るのもハバロフスクらしい趣きである

◇ハ市の市役所では今でも食糧券を出して食用品の廉價販賣をやつてゐる、砂糖は一ヶ月一人につき二斤（一斤一留五十哥）米は六斤百匁四十哥）麥粉は一布度と云ふ割合である、若し市中の支那人や日本人の店で買へば米は二斗入六十五留醬油は一斗樽五十留の相場で燐寸は一包（十個入）一留（邦價約二十錢）

◇過激派についてこんな話がある或る金持の店に一人の過激派の店員がゐたためある日主人に砂糖と麥粉の二三斤を持たせて主人を追出し四五十萬圓の家屋と商品全部を押收して了つた、それが日本軍の入市と共に再び主人に取りかへされた（ハ市ステーションにて）

○朝鮮物產工塲燒く

損害七萬圓

卅日午前三時仁川萬石町十八番地朝鮮物產株式會社籾摺工塲裏手より出火したるが時恰も西南の風强かりし爲め瞬時にして猛火は同工塲附屬建物全部を燒き拂ひ僅に倉庫一棟及び米搗工塲を殘して午前五時漸く鎭火したり原因は不明なるが建物及び玄米籾其他穀物等の燒失損害を見積れば約七萬圓に達すべく目下調査中なり

○木內氏夫人

京都監獄に收監された前京都府知事木內重四郎氏夫人磯路子さん（四）は人も知る岩崎久彌男の令妹だが廿五日夜七時半東京驛發の汽車で京都へ向つた木內氏から京都安著の電報を受け取つた廿六日夜からドッと病床に就いた、家人の話では風邪だといふが良人の身邊に迫つた暗い運命を豫知しての事であらうといふ（東京）

○吾も吾もと慰問品製作

朝鮮貴族の篤志

在京各婦人團體が衷心より我出征將卒を慰問すべく夫々慰問袋の募集に勉めつゝある事は既報の如くなるが此處に最も感に堪へざるは我新附の朝鮮人、主として

▽貴族の人 達が寒氣に馴れざる內地將卒が君國のため雄々しくも西伯利の酷寒に戰ふ事に熱烈なる同情を寄せ吾も〳〵と慰問の方法を講じつゝある事にして中にも李完用伯の如き近來眼疾益々重り視力至つて不充分なるにも拘らず惱む眼を押し拭ひ〳〵忠勇に關する古言を

▽揮毫して これを我將卒に贈り大に士氣を鼓舞せん事に努め居れり、また閔泳徽子の令息閔大植及びその親族にして篤志家として知られ先年寺內總督より銀側時計を贈られたる閔裕植の兩氏は種々考究の結果、西伯利の寒氣に耐ゆる

▽靴足袋を 贈る事に決定したるが從來の朝鮮にては內地人の足に適する靴足袋の製造は困難なりしも特に多額の費用を投じ是を製作する事となりたり右靴足袋は先づ適宜の綿を敷きその上に胡椒を入れて寒氣を防ぐものにして同家の婦人達は各自手を分け綿を敷く者、胡椒を入れる者これを縫ふ者等

▽大車輪と なつて一日の締切りに間に合はすべく完製を急ぎ居れりと一方これを聞きたる總督府警務部長は非常にその篤志を稱讃したるが尙その他の人達も續いて慰問せん事を協議しつゝありと云ふ

○三ヶ尻翁の遺骸到著す

道廳前商業會議所會頭に出席すべく大連に向ふ途南關嶺附近に於て不慮の死を遂げたる大連商業會議所議員三ヶ尻忠吾氏の遺骸は大連滿鐵病院に勤務中なる女婿內田作氏夫妻並に京城高田迎へたる嗣子直氏及び堺副會頭に擁せられ二十九日午後四時九分入京の列車にて到著したるが此日職務に忠實にして且つ不幸なる翁の英靈を納めたる柩は官民多數の出迎者の中を粛々として錦町なる私宅に入れり、因に葬儀は十月一日午後三時自宅出棺大和町本願寺に於て執行の筈（郵大）

○綠丸引揚著手

今夏七月二十六日全南莞島郡南吉島にて沈沒したる石炭船大阪松井商會汽船綠丸（八百噸）引揚げは十三萬圓にて大阪岡田音吉氏請負すでに人夫五十餘名引揚作業中なるが近く二百餘名の職工來著大仕掛けにて引揚に著手すべしと（木浦）

○門外懇親會

京城門外懇親會に於ては二十八日町內集會所に於て秋季大會を開催したるが出席者八十餘名戶田幹事開會の辭に次で日役員より詮衡委員長の報告あり新會長肥塚正太郎氏の挨拶ありて會則一部の變更を協定し會員の有益なる談話ありて後開宴し獻酬の間時局を談じ將來を語り數番の餘興などありて盛會裡に散會

○行餘會の栗拾ひ

總督府給仕奎眞組織せる行餘會にては二十九日を以て泉川部田代兩將に引率せられ揚州群面鳳陽里に於て終日栗拾ひをなし隨時餘興ありて十二分の行樂をなし多量の栗を拾得午後七時歸著せり

○佛式の結婚

總督府水道所在不能寺田張月主幹如昌智全師は今回某氏等の媒介にて見野提弘氏令妹瑞子嬢と新婚約ひ二十六日本能寺本堂に於て佛式の擧式ありたりと

○尾崎行輝氏歸朝す

せり氏は語る『目下我軍の飛行隊も出動して居る事だから

◇既う御用もあるまい と聞き飛翔しやうとしたが遂に……

て來たがもう歸て居る十一日局地に敵兵二千襲來し日本兵の展開し

は云ふ程の事もない自分は直ちに郷里三重へ歸り來月二三日頃上

タンタード石油倉庫前に十數頭の馬群現れたることは既報の通り

樣も無く暫く附近を游泳しつゝ約三十分後に姿を沒したりと云ふ時

九日午前釜山入港新羅丸上陸一二等客

崎觀太、同訓、高橋よれ、同江夫、金才ひで、竹內義夫、小島萬次郎、佐久間彥吉、吉永……

一等（四名）小川吾一、井里たけ、梅利匹郎、渡邊利二郎

二等（三十五名）…鳴神重太郎、岡あい…

天

演藝案內

▲大正館　黃金町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

△九月廿七日より替り特選提供 △英國フェニックス會社傑作 ◎戰時活劇『國敵』全四卷 ◎新派悲劇『女氣質』全四卷 △山本嘉一吾妻猛夫一派出演

◎舊劇 彥左衛門の隱密 全三卷 大久保彥左衛門は三代將軍家光公の命を受け諸國大小名の動靜を探るべく……

▲壽座 本町三丁目 電話五七八番 △義士會大會

第一 劇一人娘 第二 劇女 第三 喜劇 第四 劇 第五

▲黃金館 電話（晝間）二六六（夜間）二六三七 大松竹活動寫眞會社京城常設館 △臨時特別大興行 △愈々九月二十五日より上塲 △大阪每日新聞連載小說岡本綺堂氏原作 ◎現代悲劇 片絲 全百三十二塲 ◎舊劇 白石噺し 全三卷二百五十八塲 ◎伊國アハブロッサ會社特作品 ◎活劇 遺傳の罪 全四卷 △入樂 ハムの銀行屋 △滑稽 頼母しき指環 △京劇 △大阪特に新聞愛讀者には優待割引あり

浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 九月二十二日開演 京阪落語若手大一座

壽館 本町一丁目 電話一〇五〇 浪界新進之泰斗京山愛虎大一行 △當る九月卅日（三十日）

有樂館 東京小林商會商鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 早川演藝部直營活動寫眞常設館 電話（階上）五九七番（階下）二八五番 當る九月廿八日より公開プログラム △米國ユ社實寫スクリンマガジン第七十六 △米國ユ社ゴールトシール映畫 ◎活劇 快擧 全三卷 ◎情緒劇 春の夢 全六卷 ◎探偵活劇 第二灰色の幽靈 全四十二卷

廣告

鼻山人著（最新刊） 粹色 風流男

誰にも出來る!!! 新利殖法

廣告 ▲鐵鑛 ▲鐵石 鑛區 右多少に不拘高價買入す 平壤本町 岩田商店

冷卸發賣

京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧次郎

大阪府堺市 釀造元 肥塚源次郎

祖父忠吾儀

豫て大連に於ける滿鮮會議所聯合會に出席の爲め出張中本月二十四日午後六時三十分於途中死去致候此段謹告仕候

追而葬儀は來十月一日午後三時自宅出棺大和町東本願寺に於て執行可仕候

大正七年九月三十日

嗣子　三ヶ尻直

男　三ヶ尻龜次郎

親戚代　三ヶ尻一作

內田七郎

河野太三郎

中村鐵雄

友人總代　吉萬次郎

堺田虎一

增田高太郎

越智佐一

縣人代總　吉田佐七

○寧ろ東淸鐵道の管理を日支合辦とすべし
列國の共同管理は不可能ならん

運輸の停滯を重ねつゝある東淸鐵道の哩數如何と云ふに哈爾賓浦鹽間三百四十哩哈爾賓滿洲里間五百八十哩長春哈爾賓間百五十哩合計千七十哩であるが今若し之れを我國か或は米國等で管理するものと假定したならば其が爲め如何程の人員を要するかと云ふは長哈線に於て約一千名の人員を要し哈浦線哈滿線を合したならば

尠くも八千人を

要すると云ふ尤も右は軍事鐵道運營並に保線等に要する人員許りの話で工場其他附屬の人員を加算したならば其數實に莫大を要する亞米利加が頻りに東淸管理を望んで居るが現今西伯利及び東淸鐵道へ派遣してある人員は僅に二百餘名であつて其上人員を增加すると云ふ事は容易な仕事ではない英佛伊等の諸國は勿論人員に餘裕がないから露國以外に於て管理するには

支那或は日本より

外には其能力を有して居る國はない而かも支那は北滿の主權者であつて東淸鐵道も支露合辦なれば其の管理者として適當の立場にあるけれども支那に於る鐵道從事員は下級側は相當の人員があるけれども高級の技術方面には全く人員缺乏して居る而かもそれを支持すべき富の力を有して居ないのであるから如何ともする事は出來ない此等の諸點を綜合して考へて見ると

日支合辦の管理

に據るのが最も便法である樣に思ふ露國としては既に同鐵道の管理の實力ない事は明白であるから何時迄も此儘に放任して置く事は出來まい英米其他聯合國に於ても宜しく實際軍事行動上に其の輸送狀態に鑑み速に其の管理を日支兩國に一任する樣進んで提議してこそ友邦即ち共同軍事行動の主意にも適合するのである妄りに日本を嫉妬視して違滯解決を見ず日本の軍事行動を妨害せんとするは其の眞意が解せないと某氏は語る（奉天）

○支那の聖誕節
◆孔子誕生日慶祝條例◆

支那參議院提出議案たる聖誕節日案は參衆兩議院の贊同を得内務教育兩部にては聖誕節擧行慶祝辦法を擬し一種の規則を作り已に草稿を纏しつゝあるとの事で其内容五條左の如し

（一）各學校は孔子聖誕日に於て孔聖廟に赴き慶祝會を行ひ或は運動會提灯行列等を擧行する事
（二）各機關及び各界の人民は孔子廟に赴き謹んで致禮を行ふ事
（三）官吏各機關學校團體は孔子聖誕日には敬禮を行ひたる後孔廟に於て孔子の功德を講演する事
（四）孔子聖誕日には各機關學校及び商民家等一律に旗を掲げ燈を掛くる事
（五）孔子聖誕日には各機關學校等一律に休息する事（奉天）

慶北共進會
協贊會事業と設備
（談）協贊會長　中野太郎府尹談

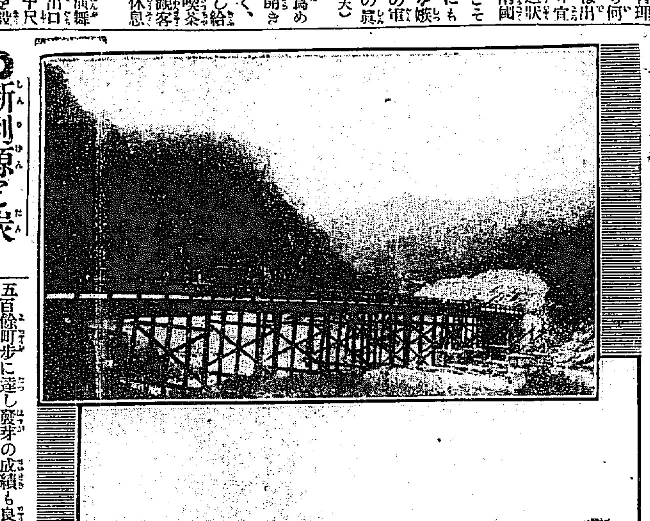
◆嶺南館の建設◆　共進會場無數の建設物中最も偉觀を示すべきものは嶺南館と名づくる純朝鮮式二階樓なり、同館は階下七十六坪餘にして階上は既に幅六尺の步廊を以てし階上は室内二十坪、是亦四方に六尺の廻廊を設け高さ地上より屋上迄三十尺餘に達する建築物にして勾欄の結構、棟頭の反合、楣柄の彩色、扉戶、棋の組立に至る迄悉く新羅施時の建築を偲ばしむるに足る、而して樓端其他周圍全體に亘り燦々たる電燈を點ずるを以て夜間は忽ち化して水晶宮となり遠近の人目を惹くべし其位置は場内の水禽池畔、陳列館及び教育館に隣し會場側面の通路に沿うて屹立し階上は階下共に貴賓の接待所に充つ

◆休憩所の設備　地方觀覽團體、學校生徒等休憩及び喫飯等の爲めに會場後部飲食店區の一角を開きて二百餘坪の無料休憩所を設く、場内には卓子、腰掛等を設備し給仕女を置きて間期中間斷なく喫茶を供給す、殊に遠方より來る觀客の如きは入場後此處にて緩々休息し疲勞を癒すに便あるべし

◆演舞場　會場餘興の一なる演舞場は共進會場の最後部觀覽者出口に近き所にあり、構造間口三十尺にして之に應ずる一條の花道を設く、會場終端の境界を背にし遙に正面の各館を控へて廣濶なる前庭を有し優に數千の觀客を容るべし舞臺には内鮮選拔きの妍秀數十を集め日々十數番の演舞を試みて絕えず觀客の目を歡ばしむべければ會場各種の陳列を點檢して長足なる產業の進步に驚歎せる觀客は此所に到りて心機更に一轉すべし

◆音樂堂　既に演舞場の觀客を惹くあり亦耳を淸むるの音樂なかるべからず、音樂堂は演舞場の前庭に隣て、其の正面に位し即賓館の附近にあり、構造は『セツション』式四脚柱の美麗なる小建物にして日々嚠喨たる洋樂の合奏は勿論、時々琵琶、琴、箏、尺八等の高尙優美なる日本音樂も亦斯道の名手によりて奏せらるべし

◆美人島　是れ恐らく會場餘興中第一の呼物なるべし、即ち近世進步せる科學の力を巧に應用せるものにして眞に奇妙不可思議得て端倪すべからざるの現象を示す而して奇怪なる此の觀覽物が美人を中心とするに於いて一層人の好奇心を唆らざるを得ず、造化の妙と雖も遠く及ばざる此の不可解物の說明は能く筆紙の盡す所に非ず、所謂蓋が開かねば分からぬ代物なり



★朝鮮の耶馬溪　の稱ある平壤元山街道中の（上）十二峯の絕勝と（下）馬息嶺の險路（平壤にて[illegible]生撮）

○盛なりし閱兵式
秋天高き奉天城外の偉觀

天高く氣淸き奉天城外に宿營せる我第〇〇〇〇後續部隊は二十九日午前十一時より盛大なる閱兵式を擧行したり新市街記念塔廣場を中心とし浪速大街、中央大街、昭德大街、鐵路大街に亘り軍馬を通過せしめて閱兵官は其要處に於て閱兵の式を行へり秋風颯爽たる朝軍旗煌々として旭日に輝き劍光燦爛として秋日に映じ威風堂々たる隊伍の整肅なるを見ては思はず襟を正しふし緊張せる軍隊の士氣をして一層緊張ならしめたり閱兵式終りて日支官民の多くを招待し大饗宴を張り支那側來賓としては張巡閱使を初めとし各守備隊司令代理其他の要路の高官を招待し日本側としては奉天赤塚總領事以下各要路の官人及び宿營中各方面に亘り熱誠の勞を取りたる朝野の人士を網羅し頗る盛會なりき（奉天）

○新利源と炭價の調節策
優良なるビールの原料と三萬俵の木炭
慶南道長官　佐々木藤太郎氏談

麥酒にする麥
例のゴールデンメロン

ゴールデンメロンは晉州種苗場にて數年來試驗の結果風土に適するを認め運搬上便利なる東萊郡を主とし附近の各郡に奬勵し作附田別五百餘町步に達し發芽の成績も良好なりしに本春は不幸稀有の寒氣酷烈なりし結果收穫上

◇不良の成績を示せしは◇

遺憾なり併し過般帝國麥酒の松井田重役の談に依れば品質は獨逸が世界ゴールデンメイロン品評會にて三等賞を得し品質と比較するになりと斷言せり本年は苦き經驗を嘗めし跡とて作付反別の增加を計らずして一百六十町步の再試作をなさしめ極力本技術員をして指導せしめ良好なる成績を得ると共に益普及するの計畫なり

木炭の供給策
智異山大學演習林利用

木炭の需要季節切迫すると共に品薄を口實とし不當の暴利を貪る奸商無きやを保せざるを以て本道廳にては帝國大學及び總督府との間に交涉を重ね生產の激增を計り市價の調節策を講ずる爲め係員を智異山大學演習林に特派し調査中なるが現在炭燒人夫僅に四十餘名にして到底生產と需要の均衡を保つを得ざるの狀態故内地より人夫を雇入れ附近の鮮人に敎授せしむるか或は鮮内にて募集するかして豫想の三萬俵を製出し以て慶南炭價の調節を計らんと欲すと

○材木又値上

新義州營林廠材は來る十月一日より現在價格の一割上に決定せるが從來の單價紅松尺締十三圓二十錢なりしを十四圓五十錢にサースン尺締十二圓八十錢なりしを十三圓八十錢に改正其他板小割材全部一割上げとなりたるが本年度に入りて三度（三割）の値上げなりと云ふ因に原木頗る不足にして製材間に合はぬ狀態なれば全鮮の木材業者間に於て買占め等は此際行はれざるべし（新義州）

○苦力が何故減つたか
原因は七つも八つも

支那は元來勞働者の豐富な點に於て有名な國であつた從つて滿洲の工業の如きも其生命は苦力賃の廉なるにありと云はれて居た然るに時勢の變遷は遂に其の立脚點にも異動を來さしめ近來は漸次勞働者の缺乏を呼ぶ樣になつて來た其原因に就いては多々ある事だらうが

其主なる原因は

（一）支那人全體の富の程度向上し勞働從事員の減少した事（二）滿洲勞働者の根本的供給地とも云ふべき山東省に於て襲に英佛兩國が多く歐羅巴行きの勞働者を募集し優待條件は殆ど空前なりし事（三）北京天津上海を始め各地に商工業勃興して多數の勞働者を其方面に吸取する事（四）滿洲蒙古及び西伯利の

奥地の漸次開發

せるに伴なひ勞働者が農民と化して次第に北方へ入込む傾きあること（五）銀高其他世間的好景氣の爲め支那人の收入概して增加し勞働者の商工業者に轉ずるもの尠からざる事（六）撫順鞍山其他各地共勞働者需要增加が非常なる事（七）支那募兵の結果一般勞働者を制肘するは勿論我使用せる勞働者迄[illegible]

其他尚は幾多の

理由あつて勞働者が缺乏の聲を高くするに至つた次第であるが就中支那募兵の烈しかつた事が其の第一主因をなしてゐる樣に見らる其の證據には撫順鞍山の苦力の中からでも募兵に應じた者さへある彼等は從來撫順鞍山にて一日五六十錢の收入を得つつあるに支那兵となれば其得る所一箇月僅に數元に過ぎない然るに目の無い支那人が何故斯かる方向に行くかと云ふに

彼等の心理狀態

に於て利慾は勿論捨る事は出來ないそれと同時に小さい名譽心もあつて其胸中に充實し兵士となれば第一に帶劍して威力を示し苦力は愚か地方人民の上に立つ事が出來る且つ勤勉數年に及べば相當に立身して威勢を振ひ福利をも併せ

將來望みがある

と云ふにある斯の如くして募兵係りが巧に誘說した結果撫順鞍山に於て多數の罷業者を生じたが我官憲よりの交涉の結果表面募集は中止したけれども內實に於ては尚ほ募集を止めないのは確かに一打擊であると工業者は語る（奉天）

從征日誌

師團の前進

左に掲ぐるは西伯利某地より出征せる某師團附野口〇〇の從軍日誌なり

（一）師團は第一梯團をイマンに前進せしむ（イマンはスパスカヤと浦鹽との間より少しくハバロフスク寄り）明日イマンに達する筈騎砲も明日イマンに達すべし（二）騎兵の一部は今日ロシゼレガルトフカに達したる筈歩兵と機關銃隊と附屬し居る筈敵は不明なり（三）ザヴィカン方面セミヨノフ隊の先頭は九月一日オロビヤンナヤを占領す敵はスレキヤンスク方向に退却す捕虜及び鹵獲品若干（四）我が〇〇支隊の先頭は八月三十一日ボルジヤに達す（九月二日）

河畔の聯絡

（一）八月三十一日イルクツクより前進しセレチエツク及び西部シベリヤ日本隊はカルイムスカヤを占領し一日オノン河畔に於てセミヨノフ支隊の前衛と連絡せり（二）師團司令部は四日イマンに前進せり〇〇騎兵の一部はロチズシカルトフサ（ハバロフスクより四十五里南方）よりホール河の線に向ひ前進せし筈（四日）

前進又前進

（一）先頭騎兵小隊の報告に依ればハバロフスクよりプラゴエ方向に退却し四日ハバロフスクに多少の過激派兵あると云ふも此の情報の出處明かならず（二）騎兵の情報によれば三日一中隊を以てサロービムスカヤ（ハバロフスク南方約三十里）ザヴヤトセスカ主力を以てペイツハに達し宿營す先遣中隊は四日朝カルムイコフ隊と共に列車にて北進せり騎兵聯隊の主力も又四日朝更に北方に前進す其後方には近く歩兵一中隊附隨するものゝ如し（三）師團司令部は五日イマンに至る（五日）

ハバロフスクへ

（一）五日午前三十分師團の騎兵一中隊はハバロフスクに侵入せり騎兵聯隊の主力も又續いて同市に侵入せし筈（二）歩兵第〇〇聯隊の〇〇中隊工兵第二中隊の一部はイラエフスキー附近の戰鬪の功績に依り八月二十五日附感狀を授與さる（七日）

艦船の鹵獲

（一）我が騎兵聯隊は歩兵〇〇聯隊第二大隊と共に七日海軍根據地を包圍し軍艦十七隻商船十一隻を押收せり（二）師團司令部は八日午前九時半イマン發ハバロフスクに向ふ（八日）

★米作（全南）　全羅南道本年米作豫想は前年より五分增加の一百六十六萬石なるが好天氣にて一層見榮ひを增せりといふ（木浦）

★新米（慶南）　慶南辰橋方面へ轟々新米出廻り三十圓五十錢にて御祝儀商內あり

○新借款壹億萬元
鐵道と軍器及び政費に對して　擔保は鑛山及び莨稅酒稅

支那紙の報ずる所に依れば支那側陸宗輿日本人側西原龜三氏此頃密に往復し時に空前の大借款を締結しようとして居る或筋から洩れたる其借款內容は左の通りである

鐵道借款四千萬元

此名は鐵道を增進せしめると云ふ立派なる名である、其豫定線路は東三省にも跨り山東江蘇直隸河南數省に亘つて居る山東濟南から新鄉に至る線路高密より徐州に線路（江蘇境）直隸則ち洮南から熱河或は北京に至る線東三省の線路如何に就きては未だ協定せざるも吉會線の延長は近きに必然起るべき問題である之は山東全省礦山を開放すべき事等の條件なるが如く

軍器と政費の借款

軍器借款額二千萬元莨酒稅を以て擔保となし且つ條件あり（一）軍事協定範圍を擴張す（二）中國陸軍は日本軍官の教練を置くべき事等（三）政費借款額四千萬元は名を政費となすも其實軍事は消費せし舊穴を埋め又用ひ來得べくんば新軍器を買收すべき費用等に充つ右三件の借款其額一億に達し年利八分にして償還期限等は相當長きが如し

右の如く名稱は各種に別れ居るも支那借款は其の十中の十一迄は下らぬ政費に消費蕩盡するを例とせり然るを以て人民は官に於て借款を締結する毎に反對し頻りに人心を擾亂せしむるを例とせり這回の成行如何（奉天）

○金塊の密輸
◇稅關監視所にて發覺◇

新義州鐵橋南峰の稅關監視所に於て一支那人が價約一萬圓の金塊を衣類に密附け密輸せんと企て居るを發見したるより直ちに新義州署に引致取調中なりと（新義州）

○粘土船の沈沒

鎮南浦中村精七郞氏所有の帆船第九十號寶海丸（總噸數百二十二噸）は粘土を搭載し大連を出帆し鎮南浦に向ひたる途中海洋島附近で時化に遭ひ海洋島附近にて船底破壞し浸水夥しく辛うじて黃海道松禾郡椒島附近まで航走したるが遂に沈沒したるが乘組員一同は傳馬船に乘移り漸く蘇河に上陸するを得たれば幸ひ一名の死傷者もなかりしが被害高約三千圓にして內船體一千圓荷物一千九百五十五圓及び其他なるが粘土の事なれば流失の虞なく目下引揚中なりと因に同船の船長は島津與一氏なり（鎮南浦）

張三李四

◆盜んだ時計を下て◆　住所不定の金福三（三〇）は平壤山手町久松子爵邸に忍入り金側懷中時計其他を窃取し大膽にも其時計を下げて通行中平壤署の刑事が取押ゆ

◆近視眼の拐帶け男◆　仁川仲町三丁目松野貫一（二四）といふ近眼の男十八、百卅兩銀行の小切手（四千餘圓）を拐帶して逃走せりと京城青葉町吉田英より訴へ出ず

◆低能の男と百卅圓◆　下關豐前田來島七郞次男源次（三八）と云ふ低能の男父の金百卅圓を預金に行きし儘行衞不明となりしが多分何者にか詐取されしならんと

◆高とスコツプと釘◆　兼二浦の高職前科數犯の鈴木末松は製鐵所のスコツプ洋釘此の價格六十四圓のものを窃取したるため同所駐在所員の手に取押へられたり

台所　其の日〳〵

◆錦糸薯◆　薩摩薯の心の處を細く繊に切り、水一合に鹽少々・燒明礬を加へて茹で上げ笊に掲げ更に乾いた布巾に包み、砂糖水の中に取りて汁のなくなるまで煮詰めた茹上りの際に少し味淋を加へて鮮黄色に光澤を出す

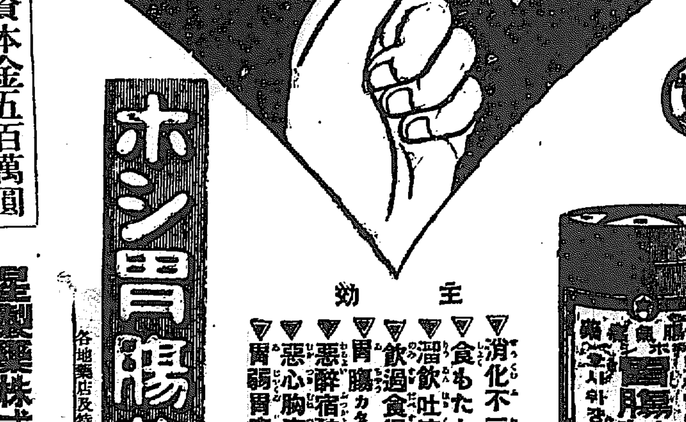
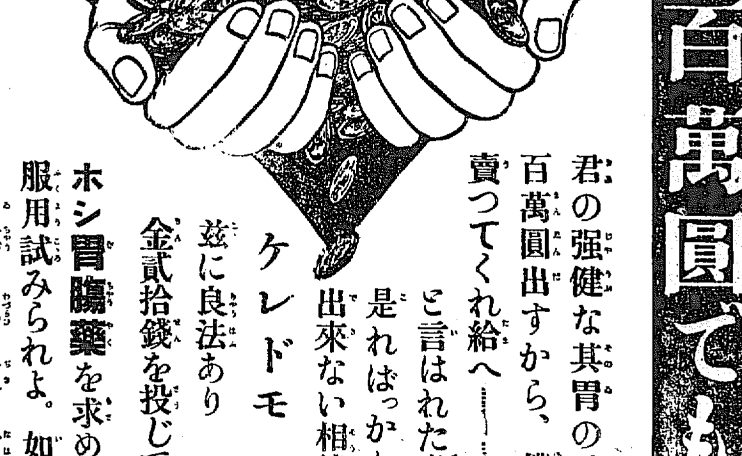
始政八周年記念　お伽大講演會

一日午前九時から日之出小學校に於て、於義洞、校洞、齋洞、仁峴、水下洞、昌信の各普通學校、日之出、櫻井、東大門の各小學校の皆さんのために、午後一時から南大門小學校に於て貞洞、梅洞、渼洞、茶洞、女子各普通學校、南大門、西大門、鍾路の各小學校の皆さんにお話する事と致しました、當日はお馴染の本社の龍山淚光先生の外河合日之出小學校長、河野櫻井小學校長、吉原貞洞普通學校長、河野鍾路小學校訓導等の諸先生方が、面白いお話をして下さる事になつて居りますからお出下さい、但し普通學校小學校共三年以下の方は會場整理の都合上お斷り致しますから、次回までお待ち下さいませ。

主催　京城日報社　每日申報社

はれた鮮　艀を追うて來たか　十六日午後三時過ぎ元山灣內ス……せし模樣なりしも獲物は更に撃く

○連絡船上陸客　……はなかく〳〵の入出なりき（元山）

百萬圓でも

君の強健な其胃の腑を百萬圓出すから、僕に賣つてくれ給へ——と言はれた處で是ればかりは出來ない相談。

ケレドモ　茲に良法あり　金貳拾錢を投じて

ホシ胃腸藥を求め常に服用試みられよ。如何なる胃腸の患も直に治つて百萬圓でも買へない、強健な胃腸に忽ちなれる。

主効　▽消化不良　▽食もたれ　▽溜飲吐瀉　▽飲過食過　▽胃腸カタル　▽悪酔宿酔　▽悪心胸痞　▽胃弱胃痛

定價　五十錢　壹圓　試用廿錢

ホシ胃腸藥　各地藥店及特約店にあり

資本金五百萬圓

星製藥株式會社　東京京橋區南傳馬町三丁目

商況

東京期米特電
休會

兵庫期米特電
未著

大阪株式特電

銘柄	拂込額	日後場
宇治川水	五〇、〇〇	…
京阪電鐵	五〇、〇〇	…
東洋紡績	五〇、〇〇	一〇七、七〇
合同紡績	二〇、〇〇	一七一、一〇
鐘淵紡績	五〇、〇〇	一八五、六〇
川上新株	四〇、〇〇	一三七、八〇
東洋汽船	五〇、〇〇	…
大阪商船	五〇、〇〇	一三三、一〇
日本郵船	五〇、〇〇	二〇四、四〇
川上新株	五〇、〇〇	一三〇、一〇
堂島米穀	五〇、〇〇	一三六、四〇
東京株式	三五、〇〇	…
大阪株式	三〇、〇〇	一五三、一〇

大阪三品特電

二十八日後場

九月限	四二一、九〇
十月限	…
十一月限	…
十二月限	…
一月限	…
二月限	四一三、五〇

大阪期米特電
未著

下關期米特電
未著

雜報

● 綿布は强硬　は電報延著の爲め大阪相場不明なるも鮮市中人氣は入荷勘き現品がスレに益々强硬にて粗布三三一疋は四百三十五圓處の取引あり小寛幅は四百四十圓を唱へられ地方筋より弗々補充注文の入込む等手持筋買惜み模樣なり

● 正米落付く　は古米の除存少なく新米は既の弗々出廻りあるのみにて地場精米筋及び仁川筋の買付等にて在米漸次に減退の傾きなり氣配は土曜日以來約四五十錢方昂騰したるも今朝は定期の不味さ內地相場の軟調、新米の出廻り等に依りて人氣漸く落付模樣を呈し內地つて幾分軟味に傾けるが如し

● 內地大麥挫折　▲大麥は模樣減退の爲め一の得意先たる同業者の買入をも一段落を告げ目下の處依然として市場の買物相當ありし爲め至り弦氣勢挫折し處にて全方の引緩み轉じ▲小麥は當限に對する買方の狼狽買により漸騰勢を示し▲麥安▲一合方小緩き成行を示せり不足の期米は何程經て時場挫折の寄付は五十錢方強含みに擇せり

● 石油在荷排底　揮發油は英米油の供給減退の折柄輸送又後れ勝にて市場在荷は依然缺乏を告げ且つ季節柄買氣引立てる際にもあり氣配は引締り强硬にて市中値段は目下四圓內外にて取引され居るも一方內地市場にては內地油生産減退の關係より注文品殺到し各の下に關東市場は東部の販賣止み總額して品薄の上漸く採用ほど益々り品薄の爲め漸く歸りり

輕油　ため內地油は輸入漸く難を告ぐる爲め原料は機械油の需要殺到し内地油の需要増加せり。かくて前途の見込みは依然として高値を持續すべし目下六十八度品の値段は一圓以上より得る見込みにて外國油も英油も輸入杜絕して一般に需要增加せざれば需要に供給伴はず近々實現せらるゝならんかの觀測もあり

機械油　は最近稀有の高値を告げマシン油類の如きは珍らしき高値を唱へなるも高勢なり

下關相場

▲朝鮮米は依然好調　共後白米四百三十六俵の輸入に過ぎずして地の品先物さも盆々好況を傳へ居るさ內地米に比し割安なる爲め各米主の意嚮强き相變らず人氣好調を呈し尤も米月物は前日上方期米弗落を傳へたる處に出來しても跡強く地高の情報に又々四十一圓五六十錢迄の勢に陷り昨午後の如き意外に人氣不揃の出來値を見るに至り頗る閑散相場にあり

▲大豆は底堅し　本品は其後別に見るべき注文入り來らずして賣れ行き捗々しからずと雖も其後の出廻り多からぬのみならず既報の如き事情の下に各手持筋の意嚮强きに依り市況底堅く之れが弗々の出來値は左の通りにて入著したるは元山多二百五十叺のみ

各地商況

◎木浦米況（二十八日）▲玄米（限會）大阪市況益々良好の爲に依りて當地も相當に活潑模樣あり三等玄三十一圓五十錢見當の所榮山浦松竹江見等與に引取りあるもどの嚀もありて全體に取引は持ちらず尚出廻りの捗々しからぬにて前途の良好にして▲粗　翻繰なし無配は比較的良好にして八圓六十七錢唱へなら

▲朝鮮一等白米　四十二圓八十錢
▲同（普通）　四十一圓三十錢
▲同　米月物　四十一圓六十錢
▲釜山新大豆　十九圓八十錢
▲鎮南浦大豆　十九圓三十錢
▲元山大豆　十九圓九十錢
一宣川大豆　十九圓十錢

▲肥料の現況　魚肥料は前報後中々弱氣にて大豆粕は八十錢の廻著にあり相場は過ぎざるも別に買進むも見らず然れども何分の出廻り相人氣現れずして手持筋の品不足を告げ且つ在荷は益々缺乏すべく一般相場の意嚮强く容易に手を下さゞる模樣にて目下市況は高持合なり

▲糠は地物二百七俵の廻著にて過ぎざるも別に買進む相場の乃ち氣乘らず先づ品揃へに過ぎず

▲大豆粕　二十錢堅き手行品にありも以前より四五十錢高に見るに至り見る品は目下堅調にして七十錢乃至八十錢方を見る

釜山物市場（廿九日）

▲玄米（無商內）頃日來昂騰を示しつゝありし當地市場相場も昨廿八日は一昂一低定りなき市況を呈し買方の安唱へに連れて賣方の賣物現はれし結果相場は下押を示すに至りたるが今朝市場に於ては地場の買筋精米必需品も頃來買ひ込み滿腹の氣味にて買氣なき有樣なるが移出方面より相場の模樣にて入れるも內地期米界も休場相場にて期正米界の氣配行きは判然ならざる爲め買方は高く賣進ます安へなるにも拘らず相方は內地高を唱へ賣方は內地低を唱へ居る折柄內地期米の相場は判明せず米の品は只の相場にて一般に買進まず

京城正米市場

買物漸次減少の一面精米筋は地方注文の皆米原料の買進みあり且つ仁川方式精米所より驅りたる買付けあり昨二十九日は相場は可成り多數の商內行はれ氣配も四五十錢高の見當を示せしが本日は地場米筋の弗々賣捨ひあるのみにて賣物さも多からず商內不進捗氣配もさ漸く持合狀態なれり

二十九日出來高
玄米千四百二十六叺二十九圓七十三錢中白四百二十石三十一圓四十錢▲新玄米十五叺三十一圓六十錢▲糯麥十九叺十四圓八十錢▲粟三百二十袋十一圓二十錢
三十日
玄米二百六十九叺最高出來値三十圓六十錢最低二十九圓五十錢

南大門廻穀

新義州栗一九叺中和大麥四〇叺鳥山白米二七叺沙里院白四二叺平壌糯　四〇叺天安白米二〇叺安東高粱五六叺天安小麥　八叺新義州粟一九叺

仁川正米

▲糯の入津少なし　正米は昨夜朝鮮物產會社の火災にて一向商談行はれず氣配は別段變動なきもの如し

生魚市場

◎京城日の丸市場　本日は釜山鯖伊勢鰯神戸元山鱈郡山鯛統營小鯛の外仁川物可成りの廻著ありて久々魚類も多か

仁川たい二〇△ 群山たい二〇△ さわら二〇△ さわら二〇△ すゝき二△ ひらす一八〇△ れんこ 三△ はも一三△ あなご一三△ さば一二〇△ あぢ一六△ くろも二〇△ めばる一〇△ かれ一四△ いか二〇△ かつを一五△ はうぼう四五△ さより一〇△ このしろ二〇△ 水いか三〇△ 小たい二〇△ あはび

仁川期米

▲第一節　各地前寄未著にて當地先二十六圓〇五錢さ十二錢高に寄付くたるも手仕舞賣物多く先三十三錢押し九十九錢迄押し七錢高にて放れ
▲第二節　先九十六錢より五錢さ押し再び六錢引
▲第三節　先九十七錢より一錢さ返し七錢引
▲引●第四節　先九十五錢より五錢引
▲第五節　先九十五錢より四錢引合の裡に保合にて頭重き成行を示して納會
▲後場例休

三十日前場當限二十六圓七錢先限二十六圓二十錢中限二十六圓一錢メ九十九錢二十六圓二十錢二十四圓二十錢七錢六錢五錢六錢七錢八錢九錢八錢七錢◎九十六錢

市場雜觀

▲一昨後場は前場引後著報大阪より六錢高を報じて商賣ある意見にもあり此の際に依り一般に○九錢さ昨北の兵庫三十二圓三十五錢より三十五圓○二錢さ押し四十一錢迄に各場の意嚮强く押方の持ち方十錢の五錢高附を示しつゝ現はれ相場は三十錢引きたが一般に先にての一○錢押れし三十三錢の引締りの形なるも三二錢を保ちたるものは先づ大方賣買も人氣好轉の傾向を示し五圓九十五錢迄に叩き返し十一錢を見る。朝日電報の入電を待ちつつ三十七錢引合

和は益良好に手仕舞に新規に賣物多

▲天候は一昨晩に大阪後場を止めて昨日の前場も半日の空晴れに雨が降り出して前場閉場後も引合に於ては大阪市場の商況は依然として高値を持續したる爲め前場は二十八錢止めに至り大阪市場は僅かに三十錢高に押し付け後場は大阪にて三十一錢を以て買ひ方の見込みあるも朝鮮にては秋日和にて人氣は前々の持ち方を示したる爲めに三十九錢五十錢に至り大阪市場の上げに從ひ漸く九錢引を唱へたるは當地の一般に期米の思惑は依然として好調なるを示し一般の市況は未だ見込みなきも各地の出來高を見るに當地は昨今の期米の趨勢に從ひ十月限の取引は僅かに一般の買方に依り昨今の如き人氣の引立ちを見るに至りたり

▲久原株　同株は既報の如く東洋方面に於ける鑛業界の流行なりし頃高値を呼び百四十圓近くに至りしが其後下落して百三十七圓の氣配を唱ふるに至り同社の事業は大正七年度に於て益々發展の傾向にあり

釜山市場

（以下略記）

新甫內氣配

▲來月限の內地相場は大阪市場の十二月限の內地相場は最近の相場に比し一圓內外の下押を見るも當地相場は大阪の影響を受けて先限に十一錢の氣配あり

五錢六錢七錢六錢七錢八錢九十二錢乃至五錢四錢五錢四錢五錢

▲大阪より三圓の下
鞘にて發會したる者が今日納會に際して十錢高は今月末頃に新米の出廻りを見るに至らば買方の意氣を挫くに足るべしと見る者多し

▲六圓四十錢さ迄擴大
し朝鮮の大豐作は內地米價の上に現はれ居る關係上新米格十一月限より二十錢多き者あるも

▲先づ六十錢乃至七十錢下
鞘格市場に於ける明一日新市場の相場は如何に變化するやも難斗

▲立會時間改正
來る十月二日新市場發會日より例年の通り前場立會時間を左の通り改正す

前場第一節	午前十時三十分より
第二節	五十分より十一時迄
第三節	十一時二十分より
第四節	十二時三十分迄
第五節	十二時迄

▲十月一日休會
來る十月一日新市場發會の當日は始政記念日に相當するを以て休會の旨市場掲示したり

仁川米豆取引所

三十日の十一月限

	寄付	止メ	高値	安値	出來高
前場	二十六圓九	二十五圓八錢	二十六圓十四錢	二十五圓九十錢	四萬二千五百石

平均値段	
一節	二十五圓九十九錢
二節	二十五圓九十七錢
三節	二十五圓九十六錢
四節	二十五圓九十四錢
五節	二十五圓九十五錢

北濱だより

▲氣乘薄　當月限は兩三月末の如き組多額なりしかば之が消化の如何を憂慮する向少なからざりしも安値の取組にもあり且つ値頃の點に於て之を受株するも充分の紐盤に出合ふ値頃なる爲めに買方も氣を退かずして著るしき過

▲大下鞘 新穀の出盛に際して果して豫定の如き低落を見るに至るや否やは最近の氣配に就ても當然の疑問である殊に大阪よりも六圓四十錢さ大下鞘を賣り居るの時に於ておやさは强氣一派の唱導する所である

▲正米よりも見て 未だ現下の正米市場に就て見れば一般の大豐作の警報に徴して今日の内地相場の動きは比較的に注意すべく一時は強硬なる氣配を持續し依然として一般の人氣は弱からざるも今後の成行は北の如何なる者の豐作如何にあるべきなり

▲又弱氣筋は風水害も案外輕微 內地に於ける風水害は案外輕微なるものにて豐作は依然にて多少の作況の上に一點の懸念なく朝鮮の新穀の出盛りに近づき此際の相場は當然の結果として如何なる變化を見るべきかを注目せられ居れり

▲明一日新市發會は始政記念日にて休會し二日新市發會より例年の通り休會前の一時より五分前に立會する新市內氣配は大阪の一圓下鞘見當に對し六十七錢下鞘見當を唱へ居れり前日の新市發會より前回立會時間を改正し一節十時三十分より十分間停にて十二時散會後場は從前の通り

毛谷村六助 卅六番角力
第廿一席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

吉岡治左衛門は安閑先に立て（治）拙者は二條堀河に道場を構へる吉岡治左衛門と申す者であるが、水島典膳に面會をいたしたい、此由を取告げ『門弟は驚いて奥へ通入んで〇『先生大變でございます、典『何うしたのだ〇『來ました、遣つて來ました典『何が参つた〇『二條堀河の吉岡と申して恐ろしい顏色をした武士が参りました、過般先生が捕へた米屋の伜をお打ちなすつたが、その淸十郎が背負つて來ました典『ウム然うか、來たら構はん道場へ通せ〇『へエ先生宜しうございますか典『大丈夫だ』乃で門人は再び玄關へ參り〇『何うぞ此方へお通り下さい治『案內いたせ』と云ひな

典『無禮であらう他人の道場へ参つて高聲を發するのみか、道具外れを打うが、何處を打うが差支はない、當人が参つたと申せば打は致さん、默つて居るから打たのだ治『コレ淸十郎何故其時に参つたと云はぬ……何に參つたと云たのを聞かぬく〜と云て打つたさ、イヤ沙汰の限りだ、何故參つたと云ふを打つた典『小さな聲だから聞こえなかつた、仕返しに來たのか、治『貴樣の樣な者には論は無益だ如何にも仕返しに來たのである、典『然らば立ち合をいたすから待つて居れ』と奥へ入つて水島は充分に支度をして其處へ參り典『さア支度をいたせ治『貴樣の樣な者を相手にするに支度には及ばん、

から安閑敗處へトン片足を掛け、ドシ〜〜踏んで行きすから門弟は驚いて居る、正面に座して居る典膳四五人の門弟を從へて蒼う水島典膳『當家の主水島典膳は拙者でござる治『是は申し遲れた失禮、手前は二條堀河の吉岡治左衛門でござるが、今日參つたは他事ではない、過般此方の門弟が是なる淸十郎が道場を透き見をしたと云つて、大勢にて引摺上げ立合ひをして下されたさうであるが、千萬忝ない、其節貴殿が直々立合つて何故斯樣な手荒い事をなされたか、貴殿も一流の指南をいたす者ではないか、斯くの如く生れもつかぬ不具者にして第一道具外れへ木劍を當るといふは貴殿に似合はぬこと、猶其上に淸十郎が參つたと聲を掛けたに聞ねぬと云つて打つといふとはない、殊に又拙者の事を痩浪人だなどと悪口され たさうだが、何の爲に左樣な事を云はれるか、返答を承はらう、

『さア參れ』と兩人は木劍を提て道場へ出る。門弟一同は手に汗を握つて見て居る、双方位取をした、治『ソーラ打込むぞ』劇しく打下して來る奴をハッシと受け止め、流石典膳も京都で多くの門人を引受けて稽古をする程の者であるから然う脆くは負けません、吉岡の打込む木劍は如何にも劇しく治『宜いか水島打つぞ、咽喉を用心しろ』『ニャッ』と云つて打下した、咽喉を用心して居りますと頭上より骨も破れると思ふばかり強かに打据ゑました、キャッと云つて其處に仆れる水島典膳典『參つた』と聲を掛けました治『聞ねぬぞ』ハッシと打下して參つたので首筋から顋へ掛けまして强かに道具外れを打ちました典『ウーム』治『何うだ典膳典『マ、參つた』治『聞ねぬぞ何うだ』典『マ、マ、マーでは判らぬ、何

うだく〜』と凡そ十五六本續け打に打つた、流石の水島典膳も其儘氣絕いたしました治『ハヽア聞ねぬ筈だ、此奴目を毆してしまつた、ヤイ水島の門弟來て介抱して遣れ』何うも劍術の立合とは思はれません、まるで喧嘩の様だ。

◎安東縣近事

▲水原農林生徒　水原農林學校生徒第三學年生二十四名は職員五名に引卒せられ十月二日新義州に來り新義州及び安東縣を見學し四日は義州に赴き同地見學の上五日午前歸校の豫定なり

▲福岡農校生徒　福岡縣立農學校生徒五十三名は職員二名に引率せられ十月十一日午後新義州著一泊の上安義兩地見學の上十三日午前の急行列車にて歸校の筈なり

▲和歌山縣視察團　和歌山縣視察團員十名は二十九日午前九時四十分著列車にて安東に來るべしとの報ありたり

▲驛員功勞表彰　安東驛勤務驛員小石金藏、驛夫助手池永金作、草留鶴彦、驛夫坂西篤太郎、山本末藏、三島義男、平岡盛一の諸氏は功勞表彰せられたり

▲新義州校遠足　新義州小學校生徒は尋常一二年は陸田洞へ三四年は崔里面山へ五六年以上は安東縣元山へ何れも廿八日遠足をなせり

▲永原主任歸安　三井物產安東出張所永原主任は北海道に開催中の博覽會見學旁同方面へ出張中の處去る二十七日歸安したり

▲感冒益甚猖獗　安東縣其の他の地方に於て流行中なる惡性感冒に罹る者は非常の勢を以て蔓延し一昨日迄の申込み數八百餘名に達したる由なれば不日一先づ打切る筈なりと

▲川豆那々出廻　鴨綠江上流より舟筏の便にて安東縣に出現する通稱川豆と稱し毎年秋大豆前の俗に出廻るもの多き由なるが本年は其の時期に達したるを以て續々出廻りあるも其の數量は例年より少き模樣なりと

曆

十月二日 九星 舊八月廿八日 壬午 本命六白乾納大安

▲六白　理かへしのつかぬ事有り新規に見合方は吉縁談乾▲七赤　同族多き日移居行出渡沿婚病▲八白　丹精の日患用行　所探藥方吉▲九紫　健全なれば三の日新規手控當の事は吉諸事注意せらるべし▲一白　奮發の日願ひ事勝居宜し女子は一勝よき事有り待人不來旅行入學商賣繁昌なり▲二黑　目的の嘗日勝居早し▲三碧　不變の事有日新規手控事吉▲四綠　あやふやの事有り手控事吉新規入學合ひ延期中止▲五黃　盛運の日新規入學遠慮合用心の事▲相性吉　勤勉以上出漁金錢賀物に

本紙の讀者中に腦病患者はないか
茲に健腦强精の良法あり　申込次第其療法を敎へる

■世の中が文明に進み生存競爭が激甚になるに伴れ生活の煩悶から頭腦を疲勞させる爲に夜は悶々として眠らず盜汗をかき頭痛がし何となく頭腦が朦朧として自分で自分の身體の始末に困つてる人がある、之れは即ち腦神經衰弱に罹つた證據であるから速かに岡田博士發明の腦病良藥レーベンを服用して頭腦を明晰にし心機を一轉し安眠靜養する必要がある

■毎日詰らない事に心配し苦勞し徒らに頭腦を疲勞せしめ其結果は憂鬱症に罹り顏色蒼白め世の中を悲觀し秋の日に落葉を觀ては人生の無常を感じ山寺の晩鐘をきいては亡き父母を追憶し故山を戀ひ深夜孤燈の下に熱い涙に暮れ淋しくあこがれ心行く許り泣き崩れ悲哀の極は人生を悲觀し草葉の陰に逝く識に誘はれて悠然家を棄て他鄕の空に月を恨みつゝ人を呪ひ遂に身を殺し憂ら藥みも此死に依つて一切總て終はんとする悲觀者がある是等は皆人は必ずヒステリーや神經衰弱に罹つてゐるにちがひないから先づ死を實行する前に腦病良藥レーベンを連續服用して頭腦を鎭靜し爽快にせよ悲觀は忽ち大なる樂觀となり必ず新生涯に入る事が能きる

■レーベンは何故他藥に勝れてゐるか！善良の藥物を創製するには如何しても專屬の製藥園を設けて此處へ其の原料を栽培し充分の研究をしなければならぬ腦病良藥レーベンは院主早く茲に著眼し先年滿鮮を初め遠く南北支那を巡遊して親しく彼の地に於る藥草栽培の實況を見、歸朝後全國の地質を調査して藥園を設け莫大なる費用と多くの日數とを費し和漢洋の藥法を斟酌し最新化學の智識を應用して得たるものであるから奏功顯著にして到底他藥の及ぶ所ではない

■仕事をしてゐて自分が今何をしてるか判然解らず何となく唯無精に睡度くて堪らない事がある之れは餘り頭腦を使過ぎた結果神經衰弱に罹つたのであるから腦の營養劑たる最高貴藥リンサンを多量に含有してゐるレーベンを連續服用して頭腦を强健にし明晰にし元氣を養はなければならない、この腦病良劑は他藥と異なり服用後決して腹痛があつたり下痢を起す樣なことはなく純植物性の藥品である から米麥を常食する東洋人には最適の良藥である

▲人間として過去の思ひ出に泣かない者はあるまい而も思ひ出の多いのは曠野のはてに立つて都かに沈み行く淋しい秋の夕陽を觀る殺那である人生は何物ぞ生命は何かあらんと想ふ考へる時彼は乾度熱い涙に暮れて頭腦は茫然として前後不覺に陷り大なる悲哀に泣き崩れるにちがひない、されど死は易く生は難い斯る人の頭腦には必ず何處かに異狀がある悲しい時泣きたい時憐を感ずる時は健腦强精の最良藥レーベンを服用して直に頭腦を鮮明にし樂觀的な快活の人となる必要がある

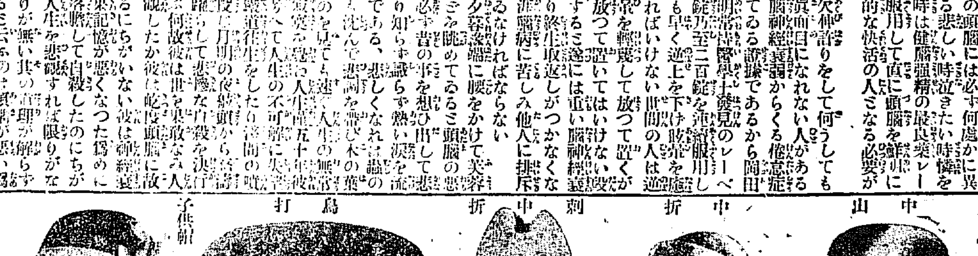
■始終欠伸許りをして何うしても仕事に眞面目になれない人がある是れは腦神經衰弱からくる倦怠症に罹つてゐる證據であるから岡田博士發明醫學士選製のレーベン一百錠乃至三百錠を連續服用して一刻も早く逆上を下げ眩暈を癒さなければいけない世間の人は逆上や眩暈を輕蔑して放つて置くが決して放つて置いてはいけない病が進行すると遂には重い腦神經衰弱に陷り終生取返しがつかなくなり一生涯腦病に苦しみ他人に排斥されてゐなければならない

■秋の夕暮淋しさに腰をかけて笑容の花なごみ眺めてゐると頭腦の惡い人は必ず昔の事を想ひ出して悲しくなり知らず識らず熱い淚を流すものである、昔より沈んで心悲調を帯び木の葉の散るのを見ても迷ひ人生の無常を感じ寂寞を感じ遂に人生の不可解に落膽して道徑生をした間違つた行爲に出口に投じ汀間の夜に頭からぬ事に身を躍らし悲慘な自殺を決行して終に何故彼は世を果敢なみ人生を悲觀したか彼は乾度頭腦に故障があるにちがひない彼は神經衰弱の結果記憶が惡くなつた爲めに失望し落膽して自殺したのにちがひない人生を悲觀すれば限りがない、限りが無い其の道理が解らずに自殺すると云ふのは頭腦が悪い爲に其道理の判斷がつかないから死んだのである道理が解らない爲に生命を棄てると云ふ事は實に悲慘な事で之より不幸な事はない斯かる人は早速レーベンを服用して頭腦を明晰にし鋭い判別性を養ひ判斷を誤らない樣にしなければならぬ何時までも放つて置けば生命がなくなるのに腦病患者は何故治療しないで何時までも放つて置くのか自分で自分の病氣を輕蔑する程危險な事はない病氣を輕蔑するのは自殺すると同じ事で實に無鐵砲も甚だしい今日迄何の爲に生きてきた其の理由の解らない人は必ず腦病に罹つてゐるにちがひない悲慘な言ふ人は恐らく生殖器の神經衰弱に罹り精神の漁陰萎の爲めに悲觀してゐる遺精早漏陰萎の爲めに悲觀してゐるにちがひない故に斯る人は强精の滋養藥レーベンを服用して元氣を養ひ身體の健全を計る必要がある

▲藥價三十錢五十錢八十五錢一圓一圓六十錢三圓五圓五十錢で各地信用ある藥店に賣つて居るが申込次第小誌「醫學博士森醫學士共述精神療法」の二册を送呈す

申込所　東京銀座弓町二　大阪安土町二　振替東京三三一番　振替大阪三三四八番　弘濟藥院　中南定太郎

冬帽着荷
何レモ最新流行型



注意　御注文は必ず名稱、色合大サを御指示被下度送料は鮮內拾錢鮮外參拾錢

京城府太平通壹丁目　合資會社　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

山縣五十雄・村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替京城三〇〇　京日代理部

贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四〇番
內科　小兒科　入院隨意
醫學博士 古城憲治
毎日五名を限り無料施療す

◎日本郵船仁川出帆
大連、天津行　相模丸　九月三十日正午出帆
高砂丸　十二日正午出帆
酒田丸　九月廿七日
仁川濱弁町　二丁目（電話十番）　堀同濟部

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行（關東都督府命令航）
共同丸　九月三十日正午出帆
朝鮮沿岸各港及大連行 其他配船
仁川代理店　本町四丁目（電話八七番）　野口商會
元山代理店　三好商會
京城取次店　河村運送店

五光商會汽船出帆廣告
第三壽丸　元山西湖、城津、清津行　九月廿九日出帆
◎門司宇品神戸大阪行　第三壽丸　九月卅日出帆
大池回漕部（電話三號）

大阪商船汽船出帆
（仁川出帆）群山大阪行　安東丸　十月二日正午出帆
（元山出帆）木浦大阪行　信濃川丸　九月廿九日正午出帆
（大連出帆）釜山門司宇品神戸大阪行　安平丸　十月三日後九時出帆
◎◎高島丸　十月四日後十二時出帆
◎◎上海、基隆、打狗行　湖北丸　十月十七日前六時出帆　天長丸　九月廿八日後六時出帆
內地各港出帆主要航路
歐洲行　一年四回
南米行　一年四回　北米行　毎月一回
濠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回
御注意　◎外國航路は前以て切符御購求被下度
京城　仁川　京城代理店　大阪商船株式會社　京城本町一丁目 電話二五〇番

尼崎汽船仁川出帆
下ノ關、大阪行　神代丸　九月廿二日後四時出
群山、木浦、下ノ關、大阪行　秀吉丸　九月廿三日後四時出
群山、木浦、下ノ關、大阪行　君が代丸　九月廿五日後四時出
仁川代理店 濱弁町二丁目（電話五九番）　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告
天候其他ノ都合ニ依リ變更スル事アル可シ
詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承知下サイ
◎敦賀行 清津、城津、元山經由
平安丸　十月四日　元山發
平壤丸　十月二日　元山發
◎浦鹽行 大阪釜山門司經由
雄基丸　九月二十八日　元山發
×雄基行 國境及江原道沿岸各港寄港セズ
雄基丸　十月七日　釜山發
×山陽丸　十月十七日　釜山發
隱城丸　十一月七日　釜山發
◎元山雄基線（元山經由）
越後丸　九月廿九日　元山發
◎金剛山遊覽便（元山發長箭行）
大阪行　十月一日　頃元山發
◎鏡城丸（欝陵島經由）十月一日　元山發
◎群山浦項線（長生浦經由）
鎭海丸　毎日　釜山發
◎濟州島行（西歸浦經由）
金海丸　毎日　釜山發
◎釜山浦項線
◎木浦西歸浦線（以下三日毎ニ發）
濟州丸　九月廿九日　木浦發
◎公州丸　九月廿六日　木浦發
◎東西海線
◎昌平丸　九月　日　釜山發
◎釜山麗水線
巨濟丸　毎日　釜山發
木浦麗水線 統營丸
顯天丸　十月一日　木浦發
◎多島海行
三浦丸　九月　日　木浦發
木浦行　九月三十日　仁川發
慶興丸　九月三十日　仁川發
海州行　九月三十日
錦江丸　毎日一回　仁川發
南浦丸　十月六日　仁川發
◎江原丸　十月五日　仁川發
江田島丸　十月五日　仁川發
釜山出張所　元山出張所　仁川代理店　木浦代理店　京城南大門通　京城南大門通（電話一一九五　二二二三）
京城南大門驛前　京城支店　松原回漕部
其他各寄港地に有取扱店あり

明治三十九年九月八日 第三種郵便物認可

京城日報

第五版 [illegible]

本紙定價 壹部金四錢 壹ヶ月七拾五錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 小川三之介
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible]

[illegible] 百五七 [illegible] 第五版 [illegible] べきは最近に於ける製鐵製鋼會社 [illegible] 興の形勢なりとす今參考の爲め
日本製鐵株式會社 [illegible]
帝國製鐵株式會社 [illegible]
日本製鋼會社 三,000,000
岩淵製鋼所 一,000,000
旭製鐵會社 一,000,000
[illegible] 其こは自ら [illegible] を異にすべく鋼材の昂騰は先づ [illegible] ば大差なかるべし(東京) [illegible] 調査 [illegible] 鐵の生産額は百五十萬圓と見 [illegible] 以來本品の輸出は [illegible] 務局を設け [illegible] 戰後に至りては米國 [illegible] 各種輸入品の取締を [illegible] 減退せず猪宗も亦實行きお [illegible] 出帆の郵船伏見丸の如きも [illegible] 同品を [illegible] 紐育に向け積出したり [illegible]

新政八周年

京城日報

本日は正に朝鮮總督府開府八周年に該當す。顧みて其實蹟を撿するに、固より未だ人心に滿たらざるもの多きを免れずと雖も、全城の蒼生、漸く昇平の德澤を受け、王化將に四隅に遍からんとするの實狀あるを見る。兎に角にも一萬四千餘方里の疆域と、一千五百萬の人衆とを擁し、二千年來獨立せる文化を有する民族に對し、急速に一體同化の實を擧ぐるといふことは、無論困難の事にして、譬へば酥雨の土を潤すが如く、周到なる用意と、不撓の精神とを以て、著實に其歩を進めざるべからず。新政施行以來、僅に八年、吾人は寧ろ當路の措設の、比較的に進み過ぎざるやを思ふのみ。

翻りて鮮人の側より之を見れば、其初めは突如たる激變に駭心驚目し、一時其の歸嚮を失ひたるものあるは、當然のことなるも、新政漸く其の緒に就くに及び、頽廢の弊、次第に除去し、人々共堵に安すると共に、殖産興業教育衛生等の奬勵に依り、從來未だ曾て夢想せざりし幸福を享受せるもの多く、吾儕の聲は、謳歌に變じ、相率ゐて皇化に向ふの狀あるは論なく、最も喜ぶべきは、數百年來萎靡沈淪せる元氣を振作し、自給自營の基礎漸く成らんとするの氣運に向へることこれなり。若し更に假すに多くの日月を以てせば、合併の大理想は全然現實にするを得べきなり。聊か感想を記して、以て新政記念日の紙頭に冠す。

朝鮮同胞に告ぐ(六)

忠孝一本(中)
日本旨義特に神道に就き

孝を以て根本義とする本來的儒教が果して劣れるか、はた忠を以て根本義とする歸化的儒教が果して優れるか、之を判斷するには一に國情に依らざるべからず。何となれば道德は、其の宗教的なると倫理的なるとを問はず、理論よりも實踐を貴び、如何に深遠高尚の教なりとて、實行に現れざる限り、半文錢の價値の存するなきを以てなり。故に其の國民道德を維持し、其の國體國情に適し、且つ之を向上し得ば、如何なる主義の上に立つものと雖も、之を採用するに躊躇するを須ひず。若又國體國情に適はざるものは、たとひ理論上取るべきものありとも、斷じて之を排斥するか、但しは之れを改善同化する所なかるべからず。思ふに支那の如く、堯舜の禪讓(其の實は餘儀なくせられたるにもせよ)を以て無上盛德とし、湯武の放伐を以て天命を遵奉せるものと爲し、爾後革命相繼の國柄に在りては、忠を以て倫理の大本と爲す能はざるは明かなり。孟子に一夫紂の說あり『齊の宣王問ふ、湯は桀を放ち、武王紂を伐つと、之れありや。孟子對へて曰く、傳に於て之れあり。曰く臣にして其君を弑す、可なるか。曰く仁を賊するもの之れを賊といひ、義を賊するもの之れを殘といふ、殘賊の人は之れを一夫といふ、一夫の紂を誅するを聞く、未だ君を弑するを聞かず』と。此の如き詭辯は以て支那人を首肯せしむるに足るべきも、日本に於て義時尊氏の不臣を以てするも、猶且つ之れを口にする能はざる所なり。孟子又宣王に告げていふ『君の臣を視ること手足の如くなるときは、則ち臣の君を視ること腹心の如し。君の臣を視ること犬馬の如くするときは、則ち臣の君を視ること國人の如し。君の臣を視ること土芥の如くなるときは、則ち臣の君を視ること寇讎の如し』と。是支那民族相傳の思想を最も露骨に言明せるものにして、支那に於て日本的忠君を說くべからざる、民族歷史の然らしむる所なり。故に支那人の所謂忠を說くは、多くは『親切』の意味にして、吾人の所謂忠とは大いに其の內容を殊にせり。

忠は中心の二字を以て構成す、是れ國語の『まごころ』と相類似す。まごころは一ありて二あるべからず。是故に之を君に致せば忠と爲り、之を父母に致せば孝と爲り、之れを夫に致せば貞と爲り、之れを兄弟に致せば友悌と爲り、之れを子に致せば慈愛と爲る。而も日本の國體は、萬世一系の元首を戴き、此天位は神聖不可侵にして、絕對の威嚴を保ち之れを以て立國の大本と爲し、之れを以て社會組織の淵源と爲すが故に、道德の基礎は亦之れより流れ出ざるべからず。是れ決して理窟にあらず、論にあらずして、又眼前の事實なれば、たとひ如何なる理論の輸入せらるゝにもせよ、此の大原則は巍然として微動だも感ぜざるなり。嘗て聞ていへらく、凡そ神國一世無窮の玄妙は、敢て窺ひ知るべからず、漢土は三代周孔の聖經を學ぶと雖も、革命の國風、深く思慮を加ふべきなりと。革命の國風たる支那の忠が一たび我邦に入るに及び、玄妙窺[illegible]大道の醇化を受[illegible]一層確實强固を來たしたるのみならず、忠其ものが遂に日本的精神の表象として、道德の首位を占むるに至れり。

博士井上頤了、曾て教育勅語の『克忠克孝』に就き解釋していへらく『玄妙にして特有なる大道は、古來之を何と名づけしや、余未だ其名を知らず、若し之を精神の上に考ふれば、一種特有の元氣にして、之を日本魂といはん。然るに此の精神が外に向つて發する場合には、其の名を何といふや、例へば此魂が皇室に對する場合には、其道を何と名づけ來りしや、之を單に忠といはんか、忠の名は外國に通ずるを以て、日本特有の道德を示す能はず、余は是に於て之に與ふるに絕對忠の名稱を以てす。之に對して外國共通の忠は相對忠と呼ぶなり。相對忠に在りては、忠は孝に對し、孝は忠に對し、忠孝對立する者なるも、絕對的の忠に於ては、忠孝相合して一となりたる高遠玄妙の忠にして、其中に相對的の忠孝共に融和して存するものをいふ』と。本邦に於ける忠は、實に此言の如く絕對的のものにして、何物も之に比肩するを許さざるなり。況んや支那流の君が仁なるがために、臣も亦從つて忠なりといふが如き、利益交換的のものに於いてをや。

寺內內閣の政績と

後繼內閣に對する要望—四

國民自覺自奮の途(二)

軍事參議官陸軍大將 井口省吾氏談

共同一致國事に殉ずるの美風は遺憾なく發揮せられ英國に於てはその上流子弟の殆ど全部たるケンブリッヂ大學の學生三分の二は自ら志願して已に戰線に立つてる有樣である。この膨脹せる狀態は獨り交戰國のみ然るにあらず中立國また然りで百方物資の經濟に意を用ゐ非常の異變に際しても決して躊躇する無き準備をなしてゐる凡て斯る狀態なればこそ今日迄も彼等は戰鬪を繼續する事が出來てゐる次第であつて既に現下に於いては獨り兵力のみならず國力の爭ひである聯合與國民はよく此間の消息に味到して愛國の念の爲には何物をも犧牲に供する決心をなしてゐるのである然るに我國に於いては如何、かの成金者流の放恣なる振舞國民の放慢なる態度は比々として慷慨に堪へぬものが多い、戰爭は此先幾年繼くかわからない、七年戰爭三十年戰爭は昔のものとばかり思つてゐてはならぬこの持久的局面に際しては國民の緊張力を缺くの一事は最も警戒を要することであり且つ痛嘆に堪へぬところである此際に處して根本的の對策は國民教育を振作して新しき忠君愛國の意味を國民の腦裡に徹底せしむるにあるが所謂國民教育なるもの所謂教育家の手にばかり委せては心細い次第である私はこゝに嘆ず可き一例を擧げるが或る小學教員にして忠君愛國とは如何なるものなるかを解するの要がないと放語した者がある實に慨歎せざるを得ないのである或る人は之れを聞くに堪へず直ちに其教員に對して反駁を加へ且つ彼を諭して國體よりして順次に說きかせ忠君愛國の意味を譯釋する事三日に及んだので漸く彼れは其の感化を得て日本國民として如何に義務の重大なるかを知り得たのであるこれは極端なる一例であるが是れに類するものは多々あるのであるかくの如き人の手に育まれて行く小國民が如何で新しき大日本の國民としての覺悟を味得することが出來ようか、自己の衣食だにあれば我國の事まで勞するに足らずといふのが彼等多數の心となるが如きことあらばその時こそは實に由々しき大事であらう若し現在歐米諸國の如く戰鬪を繼續すること多年現役兵盡き豫備兵盡き後備補充の諸兵また盡きなんとして未丁年者を戰線に送らんとするに至らば社會上流にあるものにして自ら進んで戰線に立たんとするが如き者は幾人あるであらうか、また國會議員の中に銃を手にして一兵卒たらんと欲する者が何人あるであらうか、或人が米國に於て諸所を遊覽せん爲めに或米人に案內を依賴したところ快よく引受けて引廻したのであるが其途中彼の米人は或る一封の手紙を手にして開封默讀してゐる中に熱淚は滂沱として頰を傳ひ彼の手足はわな／＼と震へたのであるそこで怪しみて如何なる事情かと質問せしに彼の米人は答へて、吾れに二人の男子があつたが二人共に志願して戰線に出てゐたが此書によれば其一人は遂に敵彈の爲めに斃れたのであると夫を知つた彼の人は然らば此の上に案內を賴むは甚だ本意でないからと吊辭を述べ別れんとせしに米人は頭を左右に打振つて遂に豫定通り終り迄案內したといふ事である我國に於ける乃木將軍の例も決して彼の地には尠くないのである今迄軍國的訓練に於ては遙かにわれに劣ると臆測されてゐた米國に於て此の事ありと知る以上我國民としては實に眞心一番臍の緒をしめ直さなくてはなるまい我輩は一介の武弁である敢て政治の細事に渉つて發言する限りでない唯目下我國運が史上未曾有の機に際してゐる時國民をして之を自覺せしめ自奮せしむるに於て遺憾なきの道を講ずる事を爲政者に希望せざるを得ない(東京)

邂逅

七 虐待(七) 佐々木峯雪

か』

『わッ』と庄左衞門は驚きの目を向けて『あの失物とでございますか』

『うむ』藤兵衞は默つて頷いた。

『して一體其失物とは何でございますな』

『さ、それが……袱紗ぢや』

『袱紗』と庄左衞門は異樣に目を光らした。

『なにもお前を疑ふといふのでも無いがりや、どう思ふのでも無いが、若しやお前の仕事中に他の弟子の者でもと思つて喃、實は……』

『やゝなんでございますか、旦那樣はわたしの弟子の者にお疑ひを……』

『いや御うと云ふんぢや無いが、實のところ昨日な、午後の三時頃這入つた時は、ちやんと机の上に置いた儘であつたのが、わしが一寸白井の宅へ行つて話が調子附き、五時前に歸つて不圖見ると、不思議にも袱紗が無くなつて居るは異しいと思つて、其場でお前達に訊ねやうとも思つたが、若し家內の者がどうか爲たのであらうと、お前達の歸つた後で、彼奴女から內の家內迄は一人殘らず訊ねもし、調べも爲たが、一向それらしうも思はれぬ、と云うて昨日は他に來客も無しするので、ひよつと……』藤兵衞は頻りに疑ひの眼を庄左衞門に投げた。

『して其の袱紗といふのは、どんな色合ひでございますな』其の聲は次第に微んで來た、

『袱紗か、その袱紗は紫、なんぢや』と怪しい點でもあらうかと、一心に庄左衞門の素振を視詰めた

『それからお金は幾何程でございます』

『金か』『金は大した事でも無い、一百二十兩ばかしぢや』となほものぞくやうにして擧動を探つた、

『はア』と顫いて『一百二十兩……そりや何にしても大金でございます、が然しわたしは一向氣附きませんでしたが』

覺に無い身とて庄左衞門は落ちついて云つた、

『うむ御うか』と上滑りのする聲で『はて異しいなア』藤兵衞は腕組した、

藤兵衞は疑ひの目で庄左衞門の面や擧動を窺つた、けれども庄左衞門は露程も疚しい行爲は無いので、飽迄覺は無いと云ひ切つた、

『なにもお前を疑ぐるのぢや無い若しか弟子の中にと思つて喃』

『ではわたしの弟子共が盜んだと被仰るのでございますな』

『なに／＼盜んだとは們は云は無い』

『それでもどうやらお疑ひが掛つたやうでございます、が斯うして頂きませう、わたしも逃げも隱れもしません、又弟子共も宅より一步も外へは出しませんから、一應わたしの家をお調べ下さい、其の時若し弟子共の中に、そんな不都合な者がありましたら、わたしも男でございます、立派に其の不心得者と共々に法律の制裁を受けまする、どうか旦那樣お調べ下さい』

庄左衞門の聲には、力ある火のやうな熱が籠つて居る。

『怒つちや困る、なにも們はお前遠ひと云ひ切つた譯ぢや無いが』

『でも一應お調べ下さい、お調べを受けた上明るい庄左衞門になり度うございます、此身に懸つた黑雲を拂ひ度うございます、旦那樣是非お調べ下さい』と殘念さうに涙さへ浮かべて云つた、

『御う云つて呉れちや們だつて困る』

『いやそれでも是非にお調べを……』

庄左衞門は身に覺の無い疑ひを掛けられたので、面白からぬ機嫌で暇を告げて歸つて來た。

『こんだ事になつて來た、あゝ此黑雲はどうして拂はうかな』

庄左衞門は斯う思ひながら我家へ歸つて、今納屋口へ來掛ると、其處の小影に蹴一が身を小さう隱れるやうにして、何物かを一心に見詰めてゐた、不思議に思つて窃つと足音を盜んで窺ふと、思はず庄左衞門は呀と叫んだ。

中秋書懷一首 小永井槐陰

月色佳哉酒滿觴。撥擬可備庚公樓。飛鴻遙落几筵調。瓊響吟成八詠秋。放上露華凝冷影。草間蟲語亦風流。天如水處雲烟絕。萬里清光遍帝州。

芳醇一斗綠蟻酣。簾影依稀月樓上。彩雲碧空明。籬邊黃菊傲京秋。誰爲顧詩擬塵世。豈以奇文嬲俗流。幽遠詩情清秀興。高樓與預擬蘇州。

學圃曰、老健深穩、後首殊極雄之致。

中秋書懷 河島五山

好興吟朋酌酒甌。良宵追約上高樓。翔雲掃盡三更夜。明月謝開萬里秋。曾在故山賞淸影。更來異境逐風流。人情觀雅天何管。明闇隨時五大州。

學圃曰、觸境成、敏捷可羨。

最新 女子實業講習錄
校長 和田垣博士 顧問 湯原元一先生 講師は專門家
學期前期 入學は今
規則 內容見本送呈 東京市丸の內 大日本女子實業通信學校

湯原校長監修 教育研究會編
一番子供の爲めになる本
◎◎◎其上親にも教師にも◎◎◎
小學校教師の參考用として 父兄の家庭用として
最廉價の良師友
自習用を兼た綴方讀本は本書を措て他に無し一本を置くは必要品たる家庭用として最も適當なり
お子供衆のお有りになる御家庭への御土産として
御記憶ありたし
綴方 尋常 參學年 四學年 五學年 六學年
◆價各參拾五錢◆送料各六錢◆
帝都百有餘の小學校長推奬
この最新模範的學年別『綴方』讀本は是迄ありふれた先生監修の下に東京女子高等師範學校長湯原元一先生の監修の下に教育資料研究會から發行された最完備の良書で帝都有數の小學校長百有餘氏の推奬を得たる本であることは既に此の新聞に見ても如何に本書の價値の多きかが分る今や九月の新學期に際し敢て此の書を世の教育家並に一般家庭に勸め以て子女の教育上大いに貢する所あらんと欲する所以である
◎發賣元 東京市丸の內 阿蘭陀書房 振替東京一四四八九番 電話本局三四〇四番
▲賣捌所 全國各書肆文房具店等

鐵道就職早道
會長 前鐵道院副總裁 工學博士 野村龍太郎
入會の最好機
鐵道講義錄
規則內容見本送呈 東京市麴町區有樂町一ノ四 大日本鐵道講學會

TOKIWA CO. LTD. TOKYO JAPAN

株式會社 常盤商會
資本金五百萬圓
社長 松方五郎

本社 東京市京橋區銀座尾張町一丁目一番地
電話新橋特長九五八番(貿易部) 同 三四四九番(總務部)
同 特長九五九番(貿易部) 同 三五八二番(船舶部)
同 一三五一番(保險部) 同 三五八七番(社長專用)
同 一九七五番(電氣部) 同 三七四五番(支配人專用)
同 二五八一番(外國部) 同 三七六二番(工業部)
同 三〇〇六番(會計部) (宿直專用)
振替口座東京二九八一〇番

關西支店 大阪市東區今橋四丁目拾參番地 電話本局 特長七五五番 六四二番 二〇〇五番
九州支店 福岡市博多蓮池町拾壹番地 電話福岡 特長二一九三番
朝鮮支店 朝鮮京城太平通一丁目三拾六番地 電話京城 特長五七六番
橫濱出張所 橫濱市山下町二十五番地 電話本局 特長二九九四番

主なる取引國
支那 南洋 印度 米國 英國 佛國 伊國 露國 其他

營業概要

貿易部(直輸出入、內地製品共)
▲鋼材類 銑鐵、鋼板、鐵管、鋼棒、工形鋼、アングル、チャンネル、レール其他
▲金屬地金類 金、銀、銅、鐵、ニッケル、錫、鉛、亞鉛板、鋼力板其他
▲特殊高速度鋼類
▲礦產物類 寶玉、硝石、硅石、螢石、黑鉛、滿俺、重石、硫黃、石炭、コークス其他
▲機械器具及材料類 艦船、兵器、鑛山、鐵道、建築、化學工業其他諸工業用材料機械器具類 電氣機、瓦斯機、蒸汽機及諸器具類
理化學器械、計器類、硝子類、醫料器械其他 喞筒各種、水車捲揚機械
▲調帶 革類 各種調帶革類、ロープ類、護謨製品其他
▲藥品 染料類 工業藥品 染料、塗料類
▲織物 毛類 羽二重、絹布、綿織、毛織物、羊毛類
▲自動車及附屬品類 自動車及附屬品、モーター、機械油類
▲軍需品類
▲食糧品類
▲雜貨類

工業部
◎電氣製鐵、銑鐵
◎特種合金 眞鍮、砲金、燐銅、黃銅、滿俺銅、硅素銅、脫酸元素合金、線及用合金、耐酸合金、電氣抵抗線合金、含有鐵合金、各種耐酸合金、同用鑄作物トキリメタル
◎鐵合金 フエロタングステン、フエロシリコン、フエロマンガニーズ、メタルタングステン其他
◎電熱器 家庭用電熱器、工業用電熱器、醫療用電熱器、船舶用電熱器、鑛山用電熱器、一般電熱裝置各種、電氣機械器具一切
◎坩堝類
◎耐酸耐火煉瓦類
◎耐酸陶磁器類
◎硅砂、銀砂(一號ヨリ七號迄大小各種)

船舶部
◎船舶業
◎內外船舶仲立業

保險部
外國火災保險
日本代理店
英國リバプール、ロンドン、グローブ保險株式會社
英國サウスブリチシュ保險會社
英國スコッチシュ、ユニオン、ナショナル保險株式會社
英國ニュージーランド保險會社
英國ガアーデアン保險株式會社
佛國ルニヨン保險株式會社
特約代理店
英國ヨークシャイアー保險會社
英國ユニオン保險株式會社
英國ノースブリチシュ保險會社
英國パラタイン保險株式會社
英國ノーザン保險株式會社
英國フエニックス保險株式會社
外國海上保險
日本代理店
英國ニュージーランド保險會社 英國フエニックス保險株式會社

冬衣新柄流行品
新荷着仕候
よせぎれ見切反物大賣出しは
来る十月十日より盛大に開催可仕候
京城 三越吳服店

米穀調製用具
收穫に必要なるすべての器具を整へ居候
は京城の戶田春藏本店へ
本店 京城南大門通
工場 京城北米倉町
品質を第一の標準として製作致し居り候
稻扱 唐箕 萬石 篩類 各種

▲祈め本 ▲下旬付「陽に映ゆる」 ▲俳諧「砧」 ▲川柳「香」 ▲註「一家居さかけて」
[illegible] 九月三十日 一日 二日 三日 四日 四日 五日 六日 七日
▲發表後一週間以內に [illegible] を更ふる [illegible] で一冊二句以內の事 [illegible] 送發見通告者には五十錢書籍券を呈す但何書何號と明記に限る ▲宛名は京城日報課新局詩文藝係
[illegible]

◇新内閣員初顔合 次官以下の銓衡は其都度之を行ふ

二十九日新内閣々員の初顔合せを爲し次官以下の銓衡は一時に行はず今後決定の都度之を行ふことに決定せり（東京電報）

◇新首相と新聞政策

原新首相は廿九日閣議を了へたる後宮内省記者倶樂部に至り卅餘名の記者を引見し今後の新聞政策は開放主義を執る旨言明せり（東京電報）

◇要路任命發表

卅日左の通辭令ありたり（東京至急電報）

鐵道院理事 中西清一 任遞信次官
古賀廉造 任拓殖局長官（一等）
岡喜七郎 任警視總監

◇原内閣に要望 國民の期待を實現せよ 速かに主義政見の發表を望む ＝阪谷芳郎男語る＝

阪谷芳郎男曰く世界の趨勢を觀るに英國の如き政黨政治の本家又米國の如き極度の自治主義を遵奉せる國も今や之れを廢止し統一政治獨裁政治を實施するに至れるが我國の如き所謂與黨多き一流の政治家蹶起して内閣の組織を見たらんには國民の期待する處を十分に實現するを得べし而して今回内閣更迭の結果遂に原氏によりて純政友會内閣組織さるゝに至れるが予輩の新内閣に希望する處は内外の形勢重大なるに鑑み内は國民生活の安定を期し外は列强との外交の關係上速かに主義政見を發表せん事を要望す殊に物價問題の如きは必ず公開主義を執り其政策に關しては汎く各方面殊に實業家專門家の意見を參酌し克く國民と協調を保たん事を望む尙政黨により内閣組織さるゝや場合に依りては往々我黨内閣を振り廻し地方問題等に就き種々の情弊を醸すことあり此際原氏は此の方面に鋭意留意し是等の情弊を醸さざらんことを希望す（東京特電）

◇オムスク政府出兵提議

オムスク政府は烏拉爾まで出兵すべき旨を提議せり（浦鹽特報）

◇休戰提議と回答 巴里政府に移牒、英外務次官回答

佛國デスリー將軍は勃牙利國全權大使を接見せるが同大使は講和を目的として休戰條約を締結せん事を提議せりデスリー將軍は此提議を拒絶せるが結局右提議を巴里政府に移牒する事に決せり尙華盛頓政府公報は政府が勃國の休戰提議書を確實に接受せる旨發表せり又右に關し倫敦來電に據れば英國外務次官セシル卿は言明して曰く勃國の休戰提議に對しては巴爾幹半島聯合軍司令官に於て之れに回答するか又は聯合國共同の名を以て回答す可しと（合同通信電報）

◇英軍スツルムニツア占領

英軍はスツルムニツアを占領せり（合同通信電報）

◇佛軍奮鬪益前進

佛軍はアルゴンヌ方面に於て既に一萬六千の俘虜を獲尙益前進しつゝあり（合同通信電報）

◇徐氏停戰を命ぜん

徐世昌氏の大總統就任と同時に停戰命令下るべし（北京電報）

◇憲政代議士會

憲政會は十月一日在京代議士會を開き新内閣に對する態度を決定す可し（東京電報）

◎講和聲明徑路 武斷派漸く衰勢

▲宰相演説事情

（獨逸宰相ヘルトリング伯が帝國議會全院委員會に於て講和に關する聲明を爲せることは既報の如くなるが事の爰に至れる經路を稽ふるに客年七月十九日に於ける進歩、中央、社會三黨の平和促進決議は其後本年春季戰の一時的成功に依りて北佛戰線に失墜し武斷派の爲めに服せられて三黨聯盟其のものゝ基礎にさへ動搖を來たし政府亦爲めに大本營を中心とせる武斷派の前に屈服を受けつゝありたり宰相ヘルトリングは今日に於てこそカイゼルの股肱たれども素々バヴリヤの出身にして兎もすれば平和論に耳を傾けんとし從つて其の態度亦鮮明なるを得ず一再ならず其の辭職説の傳へられたる所以なるも最近來西部戰場の敗戰と内部の頽廢とは延いて再び輿論の講和促進熱を昂騰し來り武斷派の威力減退に反して政府は漸く蘇生の觀ある裡にも尙ほ國民多數の講和熱望を持て扱ひ兼ねるの現狀に在り而かも議會の一部には彼の墺國最近の講和提議の裡面に獨逸政府あり此の説に關し説明を求めて止まず宰相ヘルトリング伯は之に關し曾て墺國宰相ペーヤーと協議を遂げつゝありたるの事實あれば遂に今回の講和聲明となりて表れたるものならん

▲眞實の目的

而して其の目的とする處は一方對内策として國民に政府亦大に講和促進の用意あることを示し以て民心の緩和に勉むると共に他方交戰各國間に講和氣分を昂進せしめ以て西部攻勢の軍に從ひつゝある聯合軍將士の士氣を挫折せしめんとするに在る可く該聲明そのものに依りて直ちに講和の促進せらる可しとはなし居らざる可ければ幸ひに武斷派の支持をも受くるに於ては獨逸政府は再び正式の講和提議を試むるならんかとも推せらるれど術策に富たる獨逸のことなれば此間を利用して戰局展開に關し何等かの策を進めつゝあるやも亦知る可からざれば聯合國として政略戰略共に甚大の注意を拂ふの要ある可しとせらる

◎通信收入概況

八月中總督府遞信局通信事業收入は三十四萬六千三百二十六圓にして豫算に比し九萬千九百八十四圓（三割六分）を超過し前年度同月中の收入に比すれば七萬三千三百九十七圓（二割七分）を增加せり又八月迄の收入累計は二百十萬五十二圓にして豫算を超過すること四十一萬七千三百五十二圓（二割五分）前年度同期の收入に比し三十二萬八千五百五十二圓（一割九分）の增收となれり

◎新内閣の政策 ＝政友會某領袖談＝

原内閣が如何なる政策を行ふべきかは閣員の協議に依りて決する事にして特に原氏が如何なる決心を以て新内閣の進路を開洞するかに依りて決すべき問題なれば今より之を揣摩するは少しく早計なれども原内閣に對して重きを爲すべき地位にある某政友會領袖の語る所左の如し

▲出兵問題 世間にては政友會が内閣を組織する事となれば西伯利出兵は自然局限さるべしとも云ふものあるも必ずしも然らず出兵其物に反對したるにあらず列國との協調を以てする出兵ならば政友會とても決して反對にあらざれば今後此事情の下に發生する出兵問題に對しては政友會も場合に依りては贊成するとあるや勿論也

▲物價調節 政友會は物價調節の必要を認むるものなれども一言に物價の調節と云ふも其實行は頗る困難にして唯通貨を縮少したるのみにて此目的を達するを得ず物價の調節は單に某々の品目のみならず一般物價の調節を計らざるべからざるを以て之が實行は決して容易の事にあらず

▲官吏[illegible] 政友會は官吏[illegible]僚の[illegible]在の俸給額の[illegible]らずと[illegible]るを已むべか[illegible]延、[illegible]り官吏の増俸の[illegible]の給與を厚うし[illegible]勞働者の賃銀をも増[illegible]さを以て月給衣食[illegible]分豐にするを得べし

▲軍備擴張 軍備擴張の必要は政友會とても固より其必要を認む嘗て政友會が二個師團增設に反對したるを以て政友會は常に陸軍增加に反對するが如く考ふるものあるも是れ皮相の見なり列國の狀勢に湊へ四圍の狀況を察すれば今後及ぶべき丈け國防の充實を計るは政友會とても固より異論の存せざる可きなり只問題は財政との調和を取るに在り財政の許さざる軍備擴張の不可能なるは言ふ迄もなきと共に財政の許す範圍に於いての海陸軍備の擴張は何人とても決して之を否認すべからざる刻下の要務たるべし

▲鐵道改良 我國の鐵道の狀況が現に運送上の要求に應ずるに足らざるは衆目の認むる所にして之に對しては緊急改良を加ふるの必要ありと認む但し之を廣軌とするか否かは問題の性質頗る重大なれば暫く之れに觸れずとするも單に現在の軌道の儘として之を改良するの餘地は尙少からず是等に就て適當の改良を施し運送の狀態を改善して經濟發展の要請に順應するは政友會の最も急務と信ずる所なり

▲文官任用令 政友會は大隈内閣の參政官制度に贊成せざりしと共に現行の文官任用令を改正して人材登用の門戶を擴大するは正に時勢の要求なりと認む但し文官任用令の改正に就ては愼重の考慮を要す妄に其制限を撤廢する時は獵官運動の弊害を誘發するの嫌ひあるを以て其門戶擴張の程度と順序とは最も周密なる注意を要すとするものなり（二十八日東京發）

◎殖銀の設立

殖産銀行にては十月一日午前九時より設立委員會を殖銀本店樓上に於て開會すべきが内地側の委員は多分出席せざるべし又午後一時よりは創立總會を開會既報の如き議案を附議すべく右終つて正規の手續きを終り總督より頭取並に理事を任命する順序となるべし

◎東拓所長異動

東拓會社出張所長中に今回左の如く異動ありたり

大邱出張所長 島井勇　京城支店殖産課長を命ず
金堤出張所長 佐世直衛　大邱出張所長を命ず
京城支店産業課勤務 大和田信次　金堤出張所長を命ず
京城支店産業課技師 足立丈次郎　京城支店殖産課勤務を命ず

◎全北道製紙狀況

全北道に於ける製紙の狀況を聞くに全州に於て産出せらるゝものを最とし主として貨物紙を産出し多くは支那方面に輸出せらるゝものなるが最近其の筋の發表に係る同道一ヶ年の製紙産額は一萬二千三百六十八地此の價格金十九萬三千七百十六圓にして道よりは特に製紙教師をして事業を改良奬勵せしむる所あり年々精巧の製紙を見つゝあるが目下は農繁期にあつて製紙界稍閑散なるが來る十一月上旬頃よりは製造に着手するもの頗る多かるべしと

◎暴風警報信號所

總督府觀測所にては這回全羅南道濟州島濟州面健入里に暴風警報信號所を新設する事に決し既に濟州面長に對し設置の認可を與へたるが不日總督府告示を以て發表さる可しと

◎副總統問題

來る可き選擧に依つて民國副總統の椅子を贏ち得る者は果して何人なるやに就ては想像區々一も多數を占むる見込なき如くなるが之に關し支那某要路者は語つて曰く副總統問題は困難なり議院内の意見一致せざる如く輿論も亦一致せずと云ひ又曰く議院内の主戰派は段祺瑞を欲すべく同氏にして當選せば依然南方に對して戰爭を繼續すべし而して議院内の平和派は之に反して岑春煊又は陸榮廷を出さんとすべし次に廣東國會の議員が甚だ少數なると陸榮廷が當選後南方派と連絡を保たんとするも北方派と廣東國會とは相容れざると南北兩國會を解散し改めて一新國會を起すの行はれ難きと曹錕が從來主戰主義を持するも其弟の之に反對すること吳佩孚が平和を欲するも其部下が戰爭を好むこと等を陳べ揚子江一帶の三督軍が獨立宣言を爲せしことは無根の事實なるを語り最後に副總統選擧が國慶日たる十月十日前に行はれ得べきや否この間に對し然せんことを力むるも恐らくは種々の事情の爲に間に合はざるべしと答へ馮國璋に就ては必ず其前に辭職を餘儀なくせらるべく副總統は暫く缺位を見るべし又新國會の事業として曰く第一副總統の選擧第二憲法の制定第三南方との妥協なりと（北京）

大阪より

▲里昻見本市出品

明年三月佛國里昻第四回見本市開設に付本邦當業者の參加方に關し在里昻領事より通牒ありたるが右出品希望者は小包郵便によるも約五箇月の日子を要するを以て直ちに見本を發送せられたき旨大阪商業會議所へ通知ありたり而して右方法は客年十一月廿四日附商第一一六號通牒在巴里帝國東京實業株式會社の參加邦商の出品管理方申出の件及び十二月五日附商第一、二六六七號通牒の在里昻エドモンド、ドゥタル氏の無料出品取扱ひ方申出の件を參照すべしと因に佛國に於ける輸入禁止に關する品目は出品し得ざること勿論なり

▲肥料界沈滯

地方農家は今尙養蠶の後始末に齷齪せること漸く農繁期に入れることとて買氣活潑ならず京阪市場の如き依然として手合せ閑散を示し相場も横濱沖インボイス九月限五圓二十錢前後にて格別の變化も見ず而して大連燐酸相場も人氣なく相場は弱が上にも軟弱を誘致せん商狀を呈せるを以て市價喰止めに鋭意せるが需用期の切迫に從ひ農家の買氣出動を待つより外なかるべし、魚肥の如きも秋肥料としては實行き不振を呈しつゝあり今暫時は相場鈍狀を免れざるべし

▲國庫證券好況

政府が去る十八日より日本銀行の手にて賣り出せる一億圓の臨時國庫證券は景況を聞くに其の償還期限短きのみならず利廻りも六分二厘迄に當り且つ日銀は同證券を擔保とする貸出しに對しては最低公定日步二錢六厘以上を適用し等の特典を附せることゝて刻下の如く銀行預金準備となすべきものを需用し居れる際とて非常なる好餌の投資物として一般の氣受け甚だ良好にして當地の銀行は競うて證券に應募しつゝありと（竹水滙生）

◎趙子爵轉地

趙重應子爵は病氣の爲め夏季以來南城に轉地療養中のところ廿九日同地を引揚げ黃海道平山郡溫井里に向ひたるが當分滯在治療すべしと

◎軍經理部長出發期

軍經理部長廣瀨主計監は石井一等主計を隨へ會計經理檢査の爲め江原道及び咸鏡北道地方へ九月三十日出發の筈なりしも豫定を變更し十月五日頃出發すべしと

◎佐賀縣人會 視察團招待

京城佐賀縣人會にては今般入京の同縣教育視察團一行を四日明月館に招待すべしと

恭賦新政八周年　服部江南

王化覃敷往事悠。同根不復恨恩讐。雞牙久吟鷄丹血。鷲爪曾搏鴨綠頭。風掃舊塵千里境。露滋新政八年秋。城中士女祝斯日。爭貢絲簧拔鎬郵。

懷古思今。忽沈痛。忽宏壯。當斯佳辰。有此佳作。城中士女又應傳誦也。

人事消息

▲福岡農學校職員生徒 十月四日釜山著六日入京の豫定
▲竹村第一銀行京城支店長 三十日夜入京浦尾へ
▲向井忠氏（産銀理事） 同上不知火へ
▲齋藤固次郎氏（安東滿鮮鐵工專務） 同日笑閣へ
▲趙羲聞氏（前黃海道長官） 三日夜退京
▲熊本利平氏（全北熊本農場主） 同上

鳥瞰雑俎

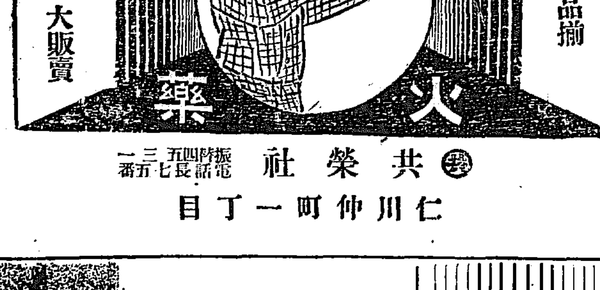
▲原新首相はぶつ切ら棒の樣だが彼れで却々如才がなく脫け目がない而して能く眼先が見える▲原氏は明治二十三年第一次山縣内閣の時には農商務大臣岩村通俊男の秘書官をして居た▲岩村男が中途退職すると一平民の陸奥宗光伯が一躍農相の椅子を占めたが原氏は大いに考へる處があつたと見えて兎に角其儘留任して陸奥農相の秘書官を勤めた▲其の時農相が彼の隼の樣な眼で原氏を見た時『此器用ふべし』とジロリと陸奥伯の胸底に響いた▲爾來非常な信用を得て大臣の印迄も預かつて居て大臣が決裁を要する重要書類には何時も原氏が大臣に代つて捺印したものだ▲明治廿四年に山縣公が辭して松方侯が第一次内閣を組織したが閣員は大概留任した▲奥陸農相も其一人であつたが折柄の總選擧に時の内相品川彌二郎子が猛烈な干渉を試みたので奥陸伯は大いに反對し數次閣議の末遂に憤然として辭閣を去つた▲其の時奥陸伯は原氏を呼んで『乃公は閣僚と意見が一致せんで辭職するが君には其の必要が無い安んじて後任大臣を迎へるが好からう』と云つた▲原氏は微笑しつゝ懐中から一通の書附を出して『閣下、是れは私の辭表であります私は豫め今日あるを知つて何時でも閣下のお伴が願へる樣に疾うから辭表を用意して待つて居りました今後とも宜敷く』と潔よく陸奥伯と進退を共にしたので一層陸奥伯の信任が厚くした▲而して後日陸奥伯が外務大臣に就任するや原氏は忽ち通商局長を與へられた▲之れが原新首相出世の階梯であつた▲遞相になつた野田大塊翁が農相になるとの噂が高くなつた時政友會本部で某氏が『野田はいかんよ〳〵』大いに攻撃すべし』といひ出したので何だと聞くと『野田の所へ行つたら何處も彼處も炭を積んで車の置場もないよ農相が炭の買占をやるといふことがあるか』で大笑ひ▲大塊翁亦便々たる腹を撫でながら『ウワツハヽヽさう思ふさるもヨカ』で又大笑ひ

◎遠洋運賃低落

[illegible]方面送り荷物は日本及び香港、米航路の復貨物として濟當なら[illegible]相當の激減ありて運賃は八十弗[illegible]んと觀測する向あり而して東洋方面[illegible]腹を悉く消化するの能はざるが故[illegible]面を見るに目下[illegible]

▲出炭減少の爲 此等船舶は大興安島新嘉坡三十圓見當に居れり而して年内地米作は大[illegible]以て成約せられ居り外米は西貢[illegible]

[illegible]事業の勃興を期する爲今回同業者[illegible]に東京出品同盟會を組織したるが[illegible]る十月十日之を[illegible]



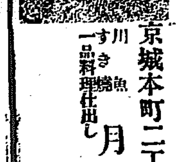
セメント値上廣告
内地製造會社の値上に伴ひ今日より一割宛値上實行仕候
十月一日
京城セメント販賣同業者

縮刷 漱石文集
明治大正の文壇が生んだ世界的文豪の遺せる傑作數拾種の中から特に代表的なものを選輯せる本書は以て漱石傑作全集と稱するを得べく我文壇の巨匠たる作者が藝術の精華は此の一卷に縮刷躍如たり今や廉價を以て諸君の書架を飾るべく提供せられたり
我輩は猫である、虞美人草、それから
明暗、硝子戸の中より、社會と自分、行人
彼岸過まで、坊ちやん、道草、文學論其他
忽三版
□總布裝□金壹圓拾錢□東京本郷元町□箱入美本□送料金八錢□振替五七八〇 中央出版社

公告
朝鮮殖産銀行令ニ依リ本日ヲ以テ農工銀行ノ業務並ニ權利義務一切ヲ當銀行ニ於テ承繼致候此段公告候也
大正七年十月一日
株式會社 朝鮮殖産銀行

●割烹大家勝見新太郎先生編 最新刊
カード式 安價料理 三百六十五日
物價騰貴の今日安價經濟で然も滋養に富む料理献立を作るは主婦たるものゝ急務である本書は此意味で生れたもので一年中朝夕の献立をカード式に掲げ誰にも其日から間に合ふ樣にしてある貧の臺所も廟間である之さへ有らば每日の惣菜に苦しむ事なく不時の來客にも有合せ物で手輕に氣の利いたものが出せる▲大判形上製 定價六十錢 ▲壹千部限り 特價 四拾八錢 送料共 郵券代用一割增
注文宛 東京神田表猿樂町廿一 振替東京二七五九 世界社

十本入定價金九錢
優秀なる兩切煙草
スピヤーを推奬す
東亞煙草株式會社

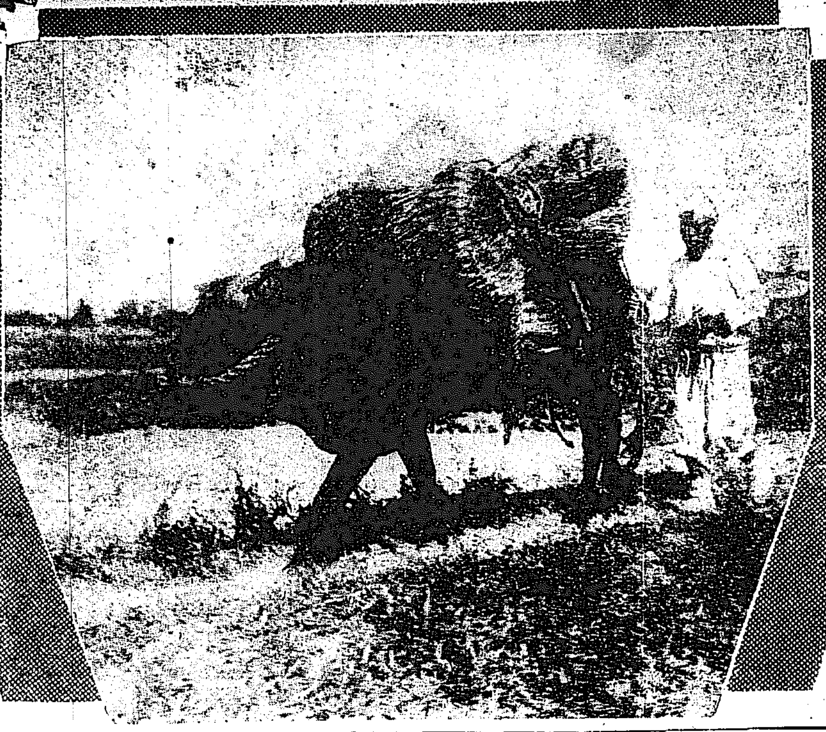
移轉御披露
四方御贔負樣方の御すゝめに依り今回南山町二丁目松葉亭前に移轉致しました就ては輕便を旨とし至極安値に御便利相謀ります特に誇りとする處は小座敷多數有之川魚料理すき燒並に一品料理に有之候是非一度御試みのため御運び被下度願上候

京城本町二丁目松葉亭前
川魚 すき燒 一品料理仕出し
月の家 電話二四七番

謹告
平壤鑛業所製造無煙煉炭は個數及價格とも其筋の御指定に基き販賣致す事に相成居り候處昨年以來各炭の騰貴に乘じ規定以外の個數を減じ又は高價に販賣致す小賣店有之哉も難計左表以外の價の販賣小賣店發見の節は乍御手數弊店迄御通知煩度願上候
ピツチ入煉炭 千二百個（一噸）十五圓六十七錢
同 五十個（一箱）七十二錢
粘土入煉炭 千二百個（一噸）十三圓六十三錢
同 五十個（一箱）六十三錢
平壤鑛業所無煙煉炭特約店
苫米地商店 京城古市町（電話九四二）

木材値上廣告
來ル十月一日ヨリ朝鮮總督府營林廠木材販賣價格約一割値上相成候ニ付此段廣告仕候也
大正七年九月二十九日
京城材木商組合

[illegible]……十弗以上低落を示し米國政府より受けたりと云へば滿洲の炭の引合頗々たるも過般の炭價……騷動に因る
バマ鐵鑛五萬六千噸の輸出許可を……
[illegible]……津馬尼剌十六圓唐津新嘉坡二十……▲南貢積内地揚二千八……百噸は四圓三十錢にて成約せられ
◎哈市出品同盟 農商務省に於て哈爾賓商品陳列館を設……滿洲地方に於ける貿易の發展及び諸……

◆刈入れ



○大塊翁の痩我慢、
二十餘年前の朝鮮入
酒幕の鍋飯に度膽を拔かれ『此家で食はんでも好かタイまだ腹力はあるモン』
井上侯に邂逅して吻と一息

新内閣の閣員中一番異彩を放ち一番好奇の眼を睜らしむる者は野田大塊翁である。是は今から廿何年前の古い〳〵挿話――即ち明治二十八年初夏の事である、當時大塊翁はもう代議士に選擧されて居たが紡績絲、金巾、紀州ネル等を

◈朝鮮に輸出 し大いに貿易の發展を圖ると云ふ目的で視察旁渡鮮することになつた當時朝鮮には勿論鐵道の便はないので大塊翁は船便を以て仁川に著いたのである。それから京城に向ふ事となり同郊某氏の案内で駄馬に跨りあの偉軀を馬背に搖られ乍ら沿道の風物に奇異の眼を睜りつゝ今の素沙驛まで來ると恰度晝飯である朝から二人とも飯を食つて居ないので腹がへつて力が無い。漸く

◈一軒の酒幕 を探し出して晝飯を食ふ事となり大塊翁はヤオラ馬背を降りて酒幕の前に至り身體を戶口一杯にして中を差し覗いて見ると之はしたり一丼の中には山盛に蠅が群つて居る勿論中身は何の御馳走か分らない某氏が其蠅を拂り退けて見せると始めて白い米の飯と判つた位ー『野田さん之を食ふんです、さァお入りなさい……』と勸められたが流石の大塊翁も是には呆れるの外はなく躊躇逡巡之を久しうした後辛うじて曰く『いや俺らァ些ともひもじうなかー』と云ふ有樣『それでも食てるないでせう』

◈まだ朝から 一本突つ込むと『此處で食はんでもよかタイ、まだ腹力があるモン……』翁は大いに辟易し且つ憫氣て了つた、所へ當時の朝鮮公使井上馨侯が日置書記官初め五六名の隨行と共に轡を並べて仁川から歸京の途次圖らずも酒幕の前で溜息を吐いてゐる大塊翁を發見し『野田ぢやないか』と聲を掛けたので大塊翁地獄で佛に逢つたやうに喜び早速事の顛末を訴すと井上侯も

◈呵々大笑し 『夫では一緒に來給へ』と二人は直ちに一行に加へられ柳洞で思ひも設けぬ珍味佳肴の御馳走に預かつたこいふ事である

禮の大意（六）
菅戸波江氏講演

次に信こはまこと、誠心である、誠の發すると云ふことに就いて茲に一つ御話をしよう、夫は神奈川縣に先年迄存命であつた彼の高島嘉右衛門氏即ち吞象翁の事である私の若い時代にはよく翁の講釋も聞いたものであるが翁の家は有名な豪家で國家の爲めにも隨分働いた、明治の初年東京と橫濱との間に

◈初て鐵道 の出來た時など非常に骨を折つて盡力したものである。又此人は一方に於て一つ嗜むものがあつた、夫は御承知の易であるが決して普通の賣卜者の行る樣な易ではなかつた。吞象翁が筮竹を執る時の姿は今日想像しても實に恐ろしくて堪らなかつた樣な氣持が致す程である。序に申上げるが私が或る時正宗の傳と云ふものを見た事がある、誰の書いたものか知らぬが何分名高い正宗の事であるから刀を打つ上に就て精妙なる鍛錬の仕方などでも說てあるだらうと思うて見ると

◈豈圖らん や只つた一つ正宗が刀を打つのを見て女房が離緣を申出たと云ふことだけ書いてあつた。或る日女房が正宗に向つて何うか今日限り妾に暇を下さいと請求を致すので、何故そんなことを突然云ひ出すかと尋ねた所女房が申すには、何うも貴方の刀をお打ちなされるのを見て居ると決して人間とは思はれませぬ鬼であらうか神であらうか兎も角も云ふ樣な恐ろしい姿で迚も貴方が妾の夫とは思はれませぬから

◈離緣して 下さいと云うた、其處で正宗はいや決してさうでない成程平常交際つて居る時の己の態度といざ刀を打つ時の態度とは全で違つて居るのは無理も無い誠心を籠めて一心になるからであると懇々道理を說いて聞かせたが夫以來我仕事場に『女人禁制』と云ふ札を掲げたと云ふ、單に是だけの話が書いてある。私が高島吞象翁の筮竹を執る時の態度を今から考へて見ると、是は確かに彼の正宗が刀を打つ場合の姿形と同じであつたらうと思はれる

◈誠を凝す 事程威嚴の備はることは無い、此吞象翁が如何なる事を申されたかと云ふと『誠は精神氣力の凝集して其念の一途に發するを云ふ』斯うである、實行家で無くては斯う云ふ講釋は出來まいと思ふ。そんな事に惚れたか何うか知らぬが明治第一の功臣で朝鮮にも關係の深い所の伊藤博文公は我悴に吞象の娘を貰つて配したのである。兎に角高島翁は誠を現はすに就ての自分の心持を言はれたものと思はれる。禮を盡す上からは

◈信の要素 を含むことが最も肝要である。夫から和と云ふこと和ぐことである、禮々と八釜しく云うて矢鱈に縮まつて固くなつて仕舞つてはならぬ、禮の用は和を貴しと爲すと說かれて居る、調和とか溫和とか熟知せられた文字である。私は此朝鮮の土地に參つて誠に賴母しく結構なことを見受けた、夫は朝鮮の在來の人と內地より入込んだ人とが誠によく融和して御座ることである。私は固より詳しい事情は存ぜぬ一向

◈不案內で あるから私の意見が肯綮に當るか何うか別らぬが大膽に希望を申上げると此上は、双方から尚一層言葉に通じて、我が意志を遺憾なく了解される樣にお互に努められ度いと考へた次第である。

◎腕が鳴る獵季
南鮮は十月一日から解禁
▽……京城附近の好獵場
既に偵察かたぐ出動した者もあるが彈藥類の拂底で例年より淋しい

◇銃獵家 の腕が鳴る秋が來た既に解獵前から受けた狩獵免狀を懐ろにして犬の訓練、銃の手入などの準備に忙殺されてゐた好獵家は解獵第一日に初功名を現はすべく三十日の晩あたりから京釜線、京義京元兩沿線などに出掛けて行つた向きも尠くないらしい、今年は時局の影響を受けて

◇彈藥類 が拂底のため狩獵を躊躇こする人、或は費用などには因らくれない熱心家を除いては例年よりその數を減じたこいふ獵場は何んといつても茲二三週間は水原以南西井里邊までに最も雉が多からうが此の地方は未だ稻の鍛入が濟んでゐないので狩獵家を困らせることが夥しいだらうこの事である、京城附近では

◇北門外 から獨立門に行く途に雉を見ることもあるが矢張東大門外蘇島附近に雉鳴み盛る人が多からうとのことである

◎水源池に毒藥
を投じたこいふ噂
其筋で調べたが犯跡はない
安東水道水源池に於て獨探鮮人數名毒藥を投じたりこの噂あり安東憲兵分隊に就て聞く處によれば九月二十九日騷動不穩の鮮人水源池附近を徘徊し居りたる旨報する者ありしより憲兵隊警察署は共同して活動を開始し二名の嫌疑者を取押へたるも身元取調の結果跡と認むべきものなき爲放還したる由一時は怪節辭流言蜚語を放に者ありたり（安東特電）

◎米廉賣打切
九月卅日限
赤貧者六千救助
京城府廳に於ける廉米販賣並に救濟會寄附金募集は九月三十日限り打切りたるが廿八日迄に於ける赤貧者救助數は鮮人五千四百九十四人內地人六百二十八人にして計六千百二十二名に達し居れり而して赤貧者に對する米の施與額は內鮮人合計九千八百八十一石の多額を示し尚救助戶數は二千四百五十戶を算し居れりと

◎今日のお伽大會!!
‖日の出校へ 南大門校へ‖
毎日申報及び本社主催の始政八周年記念普通、小學校合同お伽大講演會は既報の如く今一日午前九時より日之出小學校に於て午後一時より南大門小學校に於て開會する事となりたるが今回は特に日の出小學校の河合校長、貞洞普通學校の吉原校長、鍾路小學校の河野訓導等の面白いお伽噺もあり本社龍山淚光氏のお噺こ相まつて趣味多からべく普小各校四年以上の生徒諸君は奮つて參聽せられたきものなり尚各自に下足を整理するため古新聞紙か又は風呂敷を持參せられん事を。

□戰地より
金谷從軍記者

★砂糖ニエット!
『砂糖ニエット!!煙草ニエット!!』『砂糖ニエット!!』は口癖のやうに烏蘇里沿線の日本兵に唱られた言葉である、砂糖のないのは砂糖が露西亞の輸入禁制品であるから致方がないとしても煙草や麵ニエット!!には弱つて了ふ、露人の多くは日本兵が正當に金を支拂つてやるに拘らず從前の露軍や過激派の例を考へて現在あつても無いといふ殊に捕虜ニエット!!はクラエフスキー戰爭後非常なものであつた、此戰地の破壞された爲めに物資の輸送が杜絶して兵士などは日頃草の葉を乾してふかしてゐたといふ 自分は煙草飢ひの癖に餓鮮ゐたといふ時に草を用意した時々貨車に乘り合せた負傷兵などにこれを分けるとその悦びは大したもの『シマッウ』では兵隊さんが襲々として頻々に一口づゝすいぶ澁りなした位ゐであつた、但し頃は稍便利になつた

★野戰の南瓜
思ふと言はねば腹ふくるゝ業なり……とある如く幾分日本の兵隊にしたところで腹ふくれたまゝでも露西亞の地では鳥渡兵隊さんは勝手が解らぬ、左ればとてアヽ〳〵出る水で飯盒を炊つたといふ逸話もあるが何しろ『毛唐のものが何うなるかい』とばかり兵隊さんはてんで寄りつかぬから困つたもの、其處で時々宿營地では野戰が始まる、しかし野戰は中隊で殿が奔々やかましく『お前等は支那人同樣だぞ』と叱られてゐる連中も『よいか』と盛んに叱られてゐる、處へさまる萬人の愛卒が大事さうに南瓜を抱へてヤイ〳〵泣きながらやつて來た、見れば南瓜の上にも野戰の名殘『田口』これはお前か、こんな事をしては不可んぞ』その儀命に『ハイこれからは南瓜の上には砲度しませんであります』

◎配達人慘殺
（不北海……）
部順山面孫元洞に於て九月十日寧遠郵便局集配人の大元（元）が附郵を部掠られ被害して居るを發見し其の筋に届出たる者あり取調の結果强盜の所爲と判明なるも犯人は未だ縛に就かず被害者は郵便配達中に殺されたるものにて配達行嚢中一個及び書留め郵便一通郵便局印の鍵を紛失し居たりと

◈孤兒院 哀話（五）
釜山から只乘して來た兒 父親に置き去られた兄弟
月下鐘路小學校に通學させて居る子供がある、これは釜山から汽車の只乘をして來た、親は行方不明である、幼い記憶から語る言葉の端々を綜合して以前湖南線裡里に居た事が分かつた裡里へ紹介して見るとそれらしい事實がある父親が居たのだが行方不明であるこの事情も殿手縣の原籍地の役場に紹介するが幾度紹介しても返事が來ない、子供が悚々語る處に依れば兄が居る、その兄は、服を來て劍を下て居るから

◇兵隊さんだ 僕らやが兵隊になるのだと苦もない無邪氣な事を云つて居る。また同じく內地人で兄は八ツ弟は五ツの兄弟二人が來て居る、何でも以前旭町邊に住んで居た木村と云ふ大工の子である、母は永い間の病氣で二人の子を氣づかひながら死んだ小さい子供二人を連れて大工の木村も

◇途方に暮れ た手足まといの二人のために仕事にも出かけられない或日孤兒院へ一寸田舍まで行つて來るから子供を賴むと出て行つた、冷たい家に小さい兒等は日が暮れても歸つて來ない父を恨んで泣いた近所の人達はそれを親切に世話してやつて居つた、處が後日經つても木村は歸つて來ないので相談の上養育部へ連れて來たのである、今に父の行方はさらに判明しない

◇可憐な弟は 今にお父さんがお金を持つて迎ひに來ると嬉しがつて居る、親は無くても子は育つ、斯うした愛も情も無い鬼か蛇かのやうな者を親とした子でもこんなで居る、物價暴騰で世間の騷ぐのも知らないで一日十五錢の御馳走に腹ふくらせて嬉々と戯れ遊んで居る、保姆から看護婦等用意の好い溫い情に育つて居るが、物心知る頃ともなれば親を恨んで泣くだらう（完）

◎商業專修卒業式
（仁川）……之出小學校內商業專修學校にては九月卅日午後七時より卒業證書授與式を擧行し河合校長より訓辭ありたるが十月一日よりは新學期を開始する由にて入學者も多數にて非常に好成績なりと

◎少年書類採擇
茗溪會少年書類調委會で採擇した四十七冊少年書類は左の通りである
印象記（大阪實業新聞發行）△小學讀本お伽四郎（東京富山房出版發行）△本主義（廣文堂發行）△高砂東行詩文集（同上）△新約物語（丁未出版社發行）△日本家庭昔噺（敬文館發行）△女子作文の考へ山茶水（敬文館發行）△世界の子方作り方及び文例（明治出版社發行）

◎京城局雇員採用
來る十日京城郵便局にて雇採用試驗を執行すべく京城小學校卒業程度の學力を有する者は何人にても受驗の資格あり採用後は月收廿五圓以上になるべし京城局にては可成多數此際應募を求め居るよし

◎久保局長令姉死去
去る十九日芝山に出張中の久保京管局長は令姉危篤の急報に接し牛込矢來町に看病中の令姉は……なかりしが令姉は遂に二十七日逝去せりと

公告
一、安州地炭 百八十二噸
右來ル十月三日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

株式名義書換停止
本月一日ヨリ第拾四回定時株主總會終了迄株式名義書換停止致候
大正七年拾月壹日
京城義州通一丁目
朝鮮煙草株式會社

佐賀縣人に告ぐ
十月四日佐賀縣教育視察團員二十三名の歡迎大會を開催す奮て御來會を希望す
日時 十月四日午後七時
會場 明月舘
會費 金參圓
申込 十月二日限
申込所 旭町一丁目島崎龍一
京城 佐賀鄕友會

鐵道枕木 一千五百本
船材 一千八百枚
右海州龍塘浦ニ於テ廉賣可仕候間御希望ノ方ハ左記ヘ御問合セ被下度候
海州郡海州面南本町電話五十五番
大昌商館 朴昌鎭

本日は目出度い始政記念日で
黄金館は
晝夜開演
します
▲大好評の 片絲
▲白石噺
▲遺傳の罪
を御覽になつて
▲祝日を愉快に御過ごし下さい

謹謝近火御見舞
仁川松坂町 豊田釀造所

謹謝近火御見舞
仁川萬石町 稻田勝彦

昨夜近火の際は早速御馳付被下難有奉深謝候一々拜趨御伺ひ可申の處乍略儀以紙上御厚禮申上候
仁川萬石町 高杉醬油釀造所

昨夜近火の際は早速御馳付被下難有奉深謝候一々拜趨御伺ひ可申の處乍略儀以紙上御厚禮申上候
仁川萬石町 仁川製鹽所

昨夜近火の際は早速御馳付被下難有奉深謝候一々拜趨御伺ひ可申の處乍略儀以紙上御厚禮申上候
仁川萬石町 堀製鹽工場

第七十回勸業債券（拾圓券）賣出
◈總額 壹千萬圓 利子年四分（毎年一月拂）
◈賣出 十月二日より十五日まで
當銀行及當行大阪支店、各地代理店、取扱店並に各地郵便局にて賣出す
當銀行より直接郵送の場合は通數の多少に不拘郵送料金拾錢也を申受く
◈くじびき 初回は本年十二月三回目迄割增金總當り
最初參箇年間は年三回（四、八、十二月）其後は年二回
◈割增金

等級	金額	自初回至三回目 每回	四回目以後每回
一等	二千圓	二十本	十本
二等	百圓	五百本	五十本
三等	拾圓	八百本	四百六十本
四等	五圓	千六百八十本	九百八十本
計		三千本 十萬六千四百圓	一千五百本 參萬四千五百圓

大正七年九月
東京市麹町區 日本勸業銀行（振替貯金口座東京第四番）

SSS
サンエス萬年筆
定價改正廣告
サンエス萬年筆の業運が比儔を見ざる急速の發達を遂げ斯界の驚異事とせらるゝは世間周知の事實に候這は本舖が聊か上にも品質の改良に腐心し而して能ふ限り低廉の實價を附する等總て誠實を旨とする營業方針が生み出したる必然の結實と自信罷在候然るに近時諸材料及び工賃の騰貴其他製造費著しく增加仕り從來の定價にては供給不可能と相成候に付來る十月一日より些少增額の改正定價を發表するの已むなきに立至り申候增加とは申乍ら之を原料其他の騰貴に比すれば言ふに足らざる少額に有之候採算不能の價格を附して品質の劣下を敢てするが如きは固より本舖のなし得ざる處本舖は工場の整頓と熟練の工人とを運用して益々卓越の製品を供給するを唯一の目標と致候間何卒御諒察被下倍舊の御愛顧を賜はり度此段謹で廣告仕候也
特別第一號 改正定價壹圓八拾錢
同 第二號 改正定價貳圓貳拾錢
同 第三號 改正定價貳圓七拾錢
右の外約二十七種それぞれ定價改正仕候間御求め被下候節は最寄販賣店に備附けある本年十月一日改正の定價表御一覽の程奉願候
サンエス萬年筆本舖 東京萬世町 細沼淺四郎

朝鮮總督府編纂
朝鮮大地圖
▲八十萬分ノ一縮圖 ▲縱四尺五寸橫二尺五寸
▲折圖定價二圓 ▲軸裝定價三圓五十錢
▲折圖送料十二錢 ▲軸裝送料要……
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たざる最も特色とする處は道路にあり即ち目下輕便一二三等道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり又諸官廳所在地の正確なるは其……
發賣元 京城大平町 振替三〇〇番 京城日報社代理部

東京 ●笹屋製 三味線糸
京城明治町筋 尾琴屋 電話一三五九番

妻の心 百七

十七の三 小林蹴月作 武内桂舟畵

『それが侮蔑ぢやないか。酒の上から云ひ張つた諦を、正直に受けて、直に逃げ歸るこいふのが、第一人情に反むいた仕方だ。』

『だつてそりや貴郎、貴郎の方から人情に反むくやうにお模範をお見せになるんですもの。貴郎こそ妾を藝者風情こ思召して、侮蔑の限りを盡しておいでなんで御座いますわ。』

駒子は、素より久三郎が自分に未練のある事を承知して居りつゝ、故意こ手強く云つて、再び前の失敗を繰返すまいこ思ふのである。

『は、はア、それではお前は、久三郎から散々侮蔑されたものこ思惟した結果、彼の通り我裾に後足で砂をかけた譯なんだね。』

『まあ嫌だ。後足で砂なんて、そんな人柄のわるい事致した覺は御座いませんわ。』

『好く云つたもんだ。盗人猛々しいこはお前のこつた。』

『何ですつて貴郎、盗人こはそりや誰の事を被仰つたんです？』

盗人に喩へられた一語は、只さへ負ける嫌ひの駒子の蟲には、ぐいこ觸つた。駒子は血相を變へて、突き進んだのである。

『盗人猛々しいこはお前の事に違ひないんだ。』こ、久三郎も亦、今までの態度こはがらりこ變つた。片方の手を脇の下へ突張り、片方の指先に刈込んだ短い髭を捻り出したが、

『おい駒子、お前盗人に比較されたのが、それ程腹が立つのか？』

『外の事こは違ひます。まだ是れから柳橋へ返り咲きして、一花も二花も盛りを衿らうこ思つこる妾に、被仰りやうもありさうなもんぢや御座いませんか。妾が何時お屋敷のお品を唖一本だつて盗みましたか？』

駒子は、血走つた眼を無理に睜らき、睫頭に波打つやうな顔へを見せながら無氣になつて聲を叩いた。

『は、はア、』照一本でも盗んだ事のないお前が、何で道樂者の阿兄こ腹を合はして、町川家の家庭を掻き廻さうこは懸策したんだ。乃公は今日の今までも、お前こ云ふ女丈けは、生粋の江戸ッ兒であるこ信じこつたから、先夜の待合でも、一時彼アした意氣張でお前には、腹を立てたやうなもの、乃公の方から一應詫を述べて、孫の鞘に收まつて貰ふ了簡があればこそ、態々忙しい中を尋ねて來たんだが、盗人以上の大盗人こ分かつて見りや、もう未練も心殘りもありやせんのだ。乃公はお前達の云ふ通り一層にも短氣であるが、女にはのろい動物であつたよ。あツは、は、は。』

久三郎は、咽喉佛の見ゆる程大きな口を開いて、面當四分に怒氣六分の高笑ひを浴びせたのである、所で、駒子にはそれが分つたやうで、一寸分らない點があつた。而も又分らないやうで、分つた點もあるのであつた。豈夫自分の歸つて來る以前に、お袋がつべこべこ餘計なお饒舌を爲たのではあるまいが、道樂漢の阿兄こ腹を合はして町川家の家庭を云々……の一語丈は、確かに此方の胸へぎくりこ堪へたのである。それは、駒子それ自身に於ては、決して欣一やお芳こは同腹ではない事を證據立てらるゝにしても、總ての事情を承知して居ながら知らぬ顔に打過ごして居た丈の罪は、充分に覺りがあるのである、生粋の駒子も、有繋に少時は舌端が鈍つた。久三郎は、續をこばかり乘しかゝつて、

『駒子、能はないこは云へんだらう。お前は藝者風情こ侮蔑されるのが、何よりも嫌ひな容子だが、大正式柳橋一流の藝者には、然う云ふのが跋扈しこるんだから、油斷も隙もなりや爲ないね。は、は、は、は。』

前の高笑ひほごでもないが、久三郎は飽まで勝ち誇つたやうな皮肉こ冷酷こ小氣味好げなる侮蔑の笑ひをつゞける。

駒子は、その間も只唇を噛んで、不思議の謎を解き惡ひつゝあつたが、稍暫くの後、或る格段なる決意の瞳を固めたらしい眼光も鋭く、語調も鋭く、

『町川さん、貴郎は何處からそんな事をお聞き込みになつたのか知りませんが、何れの途もうお知りになつた以上は、女々しい言譯は致しますまい。妾は阿兄の欣一こ腹を合せ通り、貴郎の御家庭を思ふ存分に掻き廻さうこ計つたに違ひ御座いませんが、彼の綾子さんがお在でゝは思ふやうに事が運びませんので、それで一先づお暇を願ひましたのよ。何ほ女にのろい貴郎でも初めてそれをお知りになつて見たらば、少しは世の中に女房以外の女は、恐ろしい嘘を吐く者だこ云ふ事が、お分りになつたでせう。』こ不敵を通り越した一言ー

○勇ましい秋の渡鳥

▽ー熱烈な本能に支配されて放浪の旅に上る

■此頃 から晩秋にかけて空の美しう晴れた日など一群の渡り鳥が鳴きつれて遠く／＼山を越ゑ野を越ゑて北より南に翔けりゆくのを見ることが出來よう中には雁のやうに極地から極地へこ何千哩の遠方へ旅するものもあれば

■名も 無い小さな鳥で渺茫千里の蒼海を超ゑて一族共に南國に移住するものもある、されば風の荒れる日など落葉のやうに吹き捲くられて彼方に漂ひ此方にさまよひつゝ遂に海に溺れて死んで了ふやうなことも珍らしくない

■燈臺 の上にはかう云ふ哀れな小鳥の死骸を發見することが屢ある、渡り鳥がかくまでに自然の威力こ悪戰苦闘しながらも猶ほ遠くへ移り住むのは全くその熱烈な本能の然らしむる所で

■彼等 は秋になつて一度その放浪性が心に燃ゑ上ると矢も楯も堪まらず直ちに飛び立つて了ふのである鳥の飛翔力は頗る迅い、國崎氏の調べた所によると、雁は一時間に九十哩、鶉は三十八哩、阿呆鳥は十二時間に三千百五十哩を飛翔する

○栗飯の炊方

▲—秋のお料理

■栗 の上皮こ澁皮こを剥いて微温湯の中へ入れるこ澁が出ますそれから度々水を取替て茹でるのです斯うして柔かく茹りましたら栗五合に對し味淋一合砂糖廿匁水一合位醤一匙程の割合に入れてザット煮立て煮汁が殘つたら煮汁こ水を加減して釜に入れ能く磨いだお米を入て炊くのです斯うしておくと釜が吹き上げるやうになつたら

■前 の煮上げて置いた栗を手早く釜の中へ入て火を引き能く蒸らしてから飯櫃に移すのでありますが此の御飯は普通栗飯こ稱して居りますが實は栗の味附飯でありまする本統の栗飯は栗の上皮を剥き去つた實を一夜水中に放し擂鉢の如きものに入れて手で掻き廻し乍ら澁皮を除き之れに白米を適宜に混ぜて食鹽少量を加へ常の

■御 飯を炊くのこ同じ方法で炊き火を引いてから凡そ廿分間許り蒸らして其から飯櫃に移し取るのです

新刊紹介 (寄贈者)

▲婦人週報(九月號) 五錢東京牛込區市ヶ谷田町二ノ十七婦人週報社

▲栞(百十七號) 二十二錢大阪東區今橋五ノ十四關西圖書館

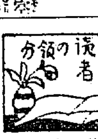
▲朝鮮遞信協會雜誌(九月號) 十二錢京城光化門通遞信局内朝鮮遞信協會

▲奉天商業會議所月報(七十號) 奉天商業會議所

▲電氣俱報(百五十號) 五錢大阪北區若松町大二六電界社

▲横濱商業講話講義録(第一號) 四十五錢東京神田小川町正則タイピスト學校

讀者の領分



追々宴會時季に入るが茲に一言したいと思ふのは縣人會であるが縣人會こ云へば其の多くは同縣人出身者中比較的有力者の集合であるが是等の輩が徒らに飲んだり食つたり踊れたりして濫費するが目的であるが目下の社會狀勢上少しは慎んで貰ひたい夫れよりは縣人會としては最少し有効な事業があらうと思ふ(…)へでは此際縣人會の有力者が夫々醵金して同縣人の窮困者を救濟の途を講じたら隨分面白い社會政策の實現を見るであらうと思ふ其の外出征軍人の慰問なども面白い事に…

▲過日一考を促したいのである(公堂一青年の罰ふ可あり又澤柳博士の論ずる所ありて在鮮内地人に大なる覺醒を促がされた事は寔に内鮮人同化の爲め感謝に堪へぬ次第である。これも蛇足の様だが僕が日常痛切に感ずるのはごうも内地人こ朝鮮人この融和の實を見ぬ事であるが互に手を携へて市中なでも歩いて居るのは何人あるか、直ぐ鮮人こ來るこオイヨボさやる爭論でも始めようものなら忽ち何だヨボノ癖に生意氣な奴めと罵る。こんな事は僕等は常に目撃するが其の都度手に冷汗をかく。どうかそんな人は一日も早く心を改めてもらいたい。そして叢惡の眼を以つて彼等を撫觸されんことを切望す(大鶏生)

京日案内
▲普通一回金一圓(四號組) 七拾錢(五號組)
▲申込中止後途掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

朝鮮語科 英語科 新學期 三ヶ月修業 各級補缺募集 外人二名出席 南大門通(漢城銀行向)京城青年會

女事務員採用 高等女學校卒業程度希望者は自筆履歷書持參 京城本町二丁目 京城銀行

店員入用 二十歳以上二名 小僧二名 京城府長谷川町

砂金青金高價買入れ 御一報被下出張可仕候 雜貨貿易卸商 鬼頭支店 京城旭町一の七

恩給立替 中村分拆所 京城府若草町郵便ポスト前入 西村商會

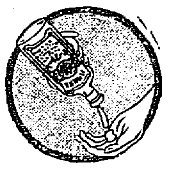
濟生堂 私の專門は、胃腸病と婦人病ですが其他の病氣と雖も、永く病床に呻吟して居るお方があつたら、一度は是非私にお診せて下さい。さすれば、私は誓つて其の苦に任じ、併せて御禮の誠實なる治療上の相談相手となりませう、治療時間午前八時より午後四時限り 京城本町三丁目 更科横 主幹 藤井百太郎 鍼灸療院

りん病 ばい毒 百圓呈 淋病第三藥は治病劑として梅毒第三藥は驅梅内服藥として醫藥學上最有効と確定 帝國醫科大學病院 分析料百圓進呈 あらゆる治療をあずも効かず患者は一度來談あれ

にせ物と奸商 粗悪でも偽造する程好きあるせの中だから止むを得ざる譯なれど我商會同様の看板を掲げ宣傳するにせ物を賣る奸商が東京初め各地に族出し無効の藥劑を販賣せり我商會は大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御買求の方は大阪有田ドラッグ商會製藥を御買取あれ 大阪有田ドラッグ商會 京城南大門外 臺町三丁目 京城龍山等各地に僞物あり御注意

京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會

模範牛乳 ニウソ 石鹸 洗粉 場主 太正塚肥 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二二番



初秋の御家庭化粧料

ホンノリ色白くなる

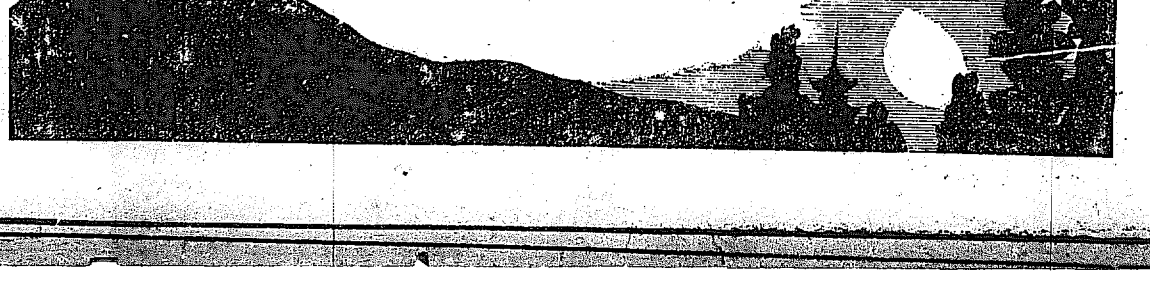
レートフード

暑さ荒れの肌を整へ素顔を見るから美くしくする

よく瓶を振つて附けて下さい。一層よく効ます

レートフードの成分は非常に强うムいますから、附けると直ぐ地肌へ吸收れ、其主成分の美容素が肌の根底から整へますから、暑さ荒れの肌は滑かに美くしくなる上に不思議な作用によつて、ホンノリ色白くなる具合は、頗る自然でムいますから、御家庭の素化粧料、隠化粧料こしては實に天下一品でムいます。

レート化粧料本舗 東京 平尾贊平



秋来れり！ 氣品高き帽子は日ノ出鳥印!!

優美にして冠り心地極めて良し

各地有名なる帽子洋品店にて御注意御愛求を希ふ

登録商標

發賣元 東京 吉安商店

最新刊

◎金澤庄三郎著 縮刷辭林 定價二圓三十錢 送料十二錢
增修日本數學史 遠藤 四、〇〇 一八
通俗商業經營講話 一、二〇 一二
鬪爭害蟲と益蟲 長野 一、〇〇 一〇
◎ジユーブ初等佛蘭西語獨習書 定價二圓半 送十二錢
英作文の作り方研究 一、〇〇 八
史冊に映ずる世界大觀 一、四〇 八
歐米人の支那觀 三、五〇 一八
大日本電氣研究所編 電氣器具製作說明書 定價五圓四拾錢 送料二十四錢
趣味的化學實驗法 一、五〇 八
學校家庭理科百講 清水 八五 八
◎鏡花隨筆 定價九十五錢 送料八錢
全譯レ、ミゼラブル 一、六〇 一二
風味ミ冬 遠八波 一、二〇 六
美文消息女子新書翰文 八五 六
森田 世界の建築様式 定價拾圓 送料四錢

京城本町 大阪屋號 電話六〇四番二〇八六番 振替京城二五七三番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓

株式會社 第一銀行 京城支店
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彦
京城本町二丁目 振替貯金京城一一〇 電話一二三一・一七六一番

醇良無双清酒 衛生無害品質無双

發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 電話長一一七一番
釜山幸町 首藤釜山支店

○製鋼前途如何

▲鋼製品の會社

○支那對米貿易

課題懸賞募集規定